



西南学院大学博物館年報 第12号

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.12

2019





西南学院大学博物館年報 第12号

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.12

2019

 西南学院大学

巻 頭 言

西南学院大学博物館は、研究・教育の拠点として、さらには「社会に開かれた大学」を具現化するために、展示活動や本学学生の教育活動、さらには大学の枠を越えた連携活動など、精力的に取り組んでおります。

2019年度も例年と同様、特別展や企画展のほか、実習生企画展、常設展示室テーマ展示等を行っております。特別展では、明治日本におけるキリスト教の展開をテーマにした「明治日本とキリスト教―蒔かれた種―」と、聖母マリアに関する神学と芸術をテーマにした「聖母の美―諸教会におけるマリア神学とその芸術的展開―」の二つの展覧会を開催いたしました。企画展では、大学博物館の建物である西南学院旧本館の着工100周年を記念して「文化財とともに生きていく―ドージャー記念館次の100年に向けて―」を開催いたしました。また、2018年度より始まった「研究室訪問シリーズ」の第2弾として、本学人間科学部社会福祉学科の山根明弘教授の協力のもと、「ねこ学への招待」を開催いたしました。

そのほか、過年度に引き続き、南島原市との相互の館での展示、おでかけワークショップなどの協定事業も活発に行っております。

2019年度の活動報告として、本書を刊行いたします。今後とも、引き続き大学博物館へのご指導、ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年 8月31日

西南学院大学博物館
館長 宮崎 克則

目 次

巻頭言	3
2019年度事業報告	
1. 展示活動	
1.1 西南学院大学博物館主催の展示活動	
特別展I「明治日本とキリスト教－蒔かれた種－」実施報告	5
特別展II「聖母の美－諸教会におけるマリア神学とその芸術的展開－」実施報告	9
研究室訪問シリーズII 山根明弘研究室「ねこ学への招待」実施報告	16
企画展「文化財とともに生きていく－ドージャー記念館 次の100年に向けて－」実施報告	19
常設展示室テーマ展示「蒙古襲来絵詞と元寇防塁」実施報告	22
常設展示室博物館ニュース展示（2019年度）実施報告	23
1.2 共同・連携事業による展示活動	
【南島原市】産官学連携サテライト展示・相互貸借特集展示・連携特別展 実施報告	24
2. 教育・研究活動	
博物館実習	27
2019年度博物館実習成果展	29
2019年度せいなんワークショップ概要	32
2019年度せいなんおでかけワークショップ概要	34
2019年度博物館教職員活動記録	35
博物館刊行物・成果物	39
3. 来館者動向	
来館者統計	42
特別展期間中来館者動向	43
来館団体一覧	44
博物館講堂使用状況	45
4. その他	
寄贈図書一覧	46
博物館規程	50
西南学院大学博物館組織	61

1. 展示活動

1.1 西南学院大学博物館主催の展示活動

特別展 I

「明治日本とキリスト教－蒔かれた種－」実施報告



主催：西南学院大学博物館

会場：西南学院大学博物館1階展示室・2階講堂

会期：2019年7月15日(月)～2019年10月26日(土)

担当：宮川由衣(学芸研究員)

事業内容

1853(嘉永6)年、ペリー提督率いるアメリカ艦隊が江戸湾浦賀沖に来航、幕府に開国を迫った。こうして約3世紀にわたるいわゆる鎖国の時代が終わり、開港場には条約締結国の外国人のための居留地が設けられた。そしてそこには近く期待される日本人への布教活動に備え、開港とともに多くのキリスト教宣教師が来日した。ここに近代日本のキリスト教の種が蒔かれた。

本展覧会では、宣教師によって蒔かれた種が芽生え、花咲き、そして実っていく様子を資料とともに辿っていった。「宣教師の活動」と並び、展覧会のもう一つの柱となったテーマが「近代化」である。

明治維新後もしばらくキリシタン禁制は続くが、1873(明治6)年にキリシタン禁制を掲げた高札が撤去される。旧来の制度や価値観を大きく変えるほどのエネルギーの根底には、黒船来航の衝撃があった。黒船来航によって西洋近代と対峙し、急速に近代化が進められていくなかで、キリスト教は伝播していったのである。明治日本のキリスト教は近代化とともにあった。本展覧会は、キリスト教との出会いという視点から、あらためて日本の近代化を問う機会となった。また、特別展関連イベント「日本賛美歌ことはじめ～パイプ・オルガンと歌う明治初期の賛美歌～」では、西南学院音楽主事の安積道也先生を講師に迎え、賛美歌の歴史についての解説を聴き、オルガンに合わせて会場が一体となり、歴史的賛美歌を歌った。

開催概要

開国に伴い、長い禁教の時代を経て、キリスト教の宣教師が再び日本の地を踏んだ。安政五カ国条約では、来日する外国人の信教の自由が認められたが、日本人に対しては、明治維新後も依然としてキリスト教禁制は続いた。こうしたなか、長崎の浦上ではキリシタンが検挙される事件も起きている。その一方で、近く期待される日本人への布教活動に備えて来日した宣教師と出会い、聖書

の教えに胸を打たれ、密かに洗礼を受けた者もいた。彼らはのちに、伝道者や教育者として、日本の近代キリスト教の礎を築いていった。こうして、明治日本に蒔かれた種は、教育、文化、そして社会福祉といった様々な分野で豊かに実を結んでいく。



関連事業

特別展関連イベント

「日本賛美歌ことはじめ～パイプ・オルガンと歌う明治初期の賛美歌～」

日時：2019年9月21日(土) 15:00～16:30

会場：西南学院大学博物館2階講堂

講師：安積道也(西南学院音楽主事/オルガニスト)



■西南学院大学博物館2019年度特別展 I

「明治日本とキリスト教—蒔かれた種—」出品目録一覧

	資料名	英訳	製作地/年代/材質	法量(cm)	原資料所蔵先	所蔵先
■1章 開国—信教の自由に向けて						
1	金海奇観(複製)	Picture Scrol Reporting the Arrival of American Ships (reprint)	日本/原本:1854(嘉永7)年頃/大槻磐溪編、鋳形赤子ほか画/紙本、卷子装/復刻版	乾巻 縦30.0×横947.0 坤巻 縦30.0×横1017.0	早稲田大学図書館(大槻家旧蔵)蔵	西南学院大学博物館
2	米利幹事略	Records written concerning events with America	日本/江戸時代後期/紙本着色・墨書、卷子装	縦18.3×横25.8		西南学院大学博物館
3	黒船瓦版	Newsheet Reporting the Arrival of American Ships	日本/1853(嘉永6)年/紙製、木版墨摺	縦22.0×横30.0		西南学院大学博物館
4	ペリー艦隊日本遠征記第1巻	Narrative of the Expedition of an American Squadron to the China Seas and Japan, vol. 1	アメリカ(Beverly Tucker, Senate Printer) / 1856年/紙製、書冊	縦29.0×横22.0		西南学院大学図書館
5	プチャーチン会談の図第五、第六	Illustration of Negotiations with Admiral Putyatin	日本/江戸時代後期/尾形探香/絹本着色、掛幅装	第五図 縦35.7×横39.6 第六図 縦32.6×横38.2		西南学院大学博物館
6	蛮艦泊碇港之図	Picture of the foreign ships in Nagasaki Port	日本/江戸時代後期/紙製、木版色摺	縦29.0×横40.5		西南学院大学博物館
7	安政五ヶ国条約	Commercial Treaties and Customs Agreements with Five Countries	日本/1859(安政6)年/紙製、書冊	縦25.8×横18.3		西南学院大学博物館
8	キリシタン制札	Proclamation Banning Christianity	日本/1868(慶応4)年/木製	縦38.1×横60.2		西南学院大学博物館
9	日本聖人鮮血遺書	Japanese Martyrology	日本(村上勘兵衛等) / 1887(明治20)年/ヴィリオン著、加古義一編/紙製、書冊	縦18.8×横12.5		西南学院大学図書館
10	弥撒拝礼式	Ceremonial	日本/1869(明治2)年/伯爾納鐸/紙製、書冊、木版墨摺	縦23.0×横17.5		西南学院大学博物館
11	教会暦	Ecclesiastical Calendar	日本/1868(慶応4)年/紙製、石版墨摺	縦33.5×横40.7		西南学院大学博物館
12	耶穌宗徒群居搜索書	Document related to search operations on Christian houses	日本/1875(明治8)年/櫻井虎太郎/紙製、書冊	縦23.7×横16.0		西南学院大学博物館
13	崎陽茶話、邪教始末	Tale of Anti-Christianity	日本/1868(慶応4・明治元)年写/良巖著、大嶋村嶋崎真甫写/紙製、書冊	縦24.5×横16.2		西南学院大学博物館
■2章 近代キリスト教の初穂—日本の近代化とキリスト教						
14	御開港横浜之図	Illustration of the Opened Port of Yokohama	日本/江戸時代後期/一川芳員/紙製、木版色摺、2枚続	縦48.0×横74.0		西南学院大学博物館
15	横浜商館天主堂ノ図	Illustration of Trading Houses and the Catholic Church, Yokohama	日本/1870(明治3)年/歌川広重(三代)/紙製、木版色摺、3枚続	縦37.0×横73.0		西南学院大学博物館
16	摂州神戸海岸繁栄之図	Illustration of Prosperity of Business at Pier of Kobe Seafont	日本/明治初期/長谷川小信(二代貞信)/紙製、木版色摺	縦16.5×横36.8		西南学院大学博物館
17	彩色写真帳	Album of Colored Photographs	日本/明治期/表紙漆塗、鶏卵写真50枚貼付	縦28.0×横37.0		西南学院大学図書館
18	ギュツラフ訳約翰福音之伝(複製)	Gospel of John, Karl F. A. Gützlaff version (reprint)	シンガポール(堅夏書院) / 1837(天保8)年/紙製、書冊/復刻版	縦27.5×横18.7		西南学院大学図書館
19	ベッテルハイム訳馬可伝福音書(複製)	Gospel of Mark, B. J. Bettelheim version (reprint)	製作地不詳/制作年不詳/紙製、書冊/復刻版	縦29.0×横21.0		西南学院大学博物館

	資料名	英訳	製作地/年代/材質	法量(cm)	原資料所蔵先	所蔵先
20	新約全書	New Testament	中国(蘇松上海美華書館) / 1864(同治3年・文久4・元治元年) / 紙製、書冊	縦14.0×横9.0		西南学院大学博物館
21	天道溯原	Martin's Evidences of Christianity	日本(倫敦聖教書類会社) / 1881(明治14年) / 丁寔良著、中村正直訓点 / 紙製、書冊	縦22.0×横14.5		西南学院大学図書館
22	ゴープル訳 摩太福音書 (複製)	Gospel of Matthew, J. Goble version (reprint)	日本 / 1871(明治4年) / 紙製、書冊 / 復刻版	縦27.0×横17.0		西南学院大学博物館
23	新約聖書馬 太伝	Gospel of Matthew	日本(米国聖書会社) / 1877(明治10年) / 紙製、書冊	縦22.3×横14.0		西南学院大学博物館
24	新約全書	New Testament	日本(大英国聖書会社) / 1880(明治13年) / 紙製、書冊	縦19.0×横13.0		西南学院大学図書館
25	引照新約全書 前・後編	Reference Testament	日本(大英国聖書会社) / 1880(明治13年) / 紙製、書冊	縦24.0×横16.1		西南学院大学図書館
26	我主イイス ハリストスの新 約	New Testament	日本(正教会本会) / 1901(明治34年) / 紙製、書冊	縦23.0×横15.5		西南学院大学図書館
27	人の神を拜 むべき理由	The Worship of God	日本(基督教書類会社) / 1892(明治25年)初版、1897(明治30年)8版 / フルベッキ / 紙製、書冊	縦18.7×横12.7		西南学院大学博物館
28	七一雑報(複 製)	Weekly Newspaper (reprint)	日本(雑報社) / 1875(明治8年)創刊 / 紙製、書冊 / 復刻版	縦30.2×横21.7		西南学院大学図書館
29	帝國憲法皇 室典範義解	The Constitution of the Empire of Japan (Meiji Constitution)	日本(国家学会) / 1889(明治22年) / 紙製、書冊	縦19.5×横13.5		西南学院大学図書館
30	余は如何に して基督信徒 となりし乎 (英語版)	How I Became a Christian	日本(KEISEISHA) / 1930(初版1895年) / 内村鑑三 / 紙製、書冊	縦18.8×横12.3		西南学院大学図書館 (波多野文庫)
31	余は如何に して基督信徒 となりし乎(ド イツ語版)	Wie ich ein Christ wurde	ドイツ(D. Gundert) / 1911(初版1904年) / 内村鑑三 / 紙製、書冊	縦19.1×横13.2		西南学院大学図書館
■3章 よきおとずれ——教育・文化・社会福祉						
32	新撰讃美歌 (複製)	Japanese hymnals (reprint)	日本 / 1888(明治21年)歌詞版 / 1890(明治23年)譜付改訂版・ローマ字版 / 1891(明治24年)ソルファー譜版 / 紙製、書冊 / 復刻版	縦22.2×横15.5		西南学院大学図書館
33	譜附 基督教 聖歌集	Hallowed Songs a Japanese hymnal with Tunes	日本(美以美教会雜書会社) / 1886(明治19年)5月再販 / 紙製、書冊	縦22.8×横15.5		西南学院大学図書館
34	聖詠経	Hymn's prayer book	日本(正教会本会) / 1885(明治18年) / 紙製、書冊	縦22.5×横15.5		西南学院大学図書館
■4章 教育者・波多野培根——西南学院の礎						
35	波多野培根蔵 書 "Christian Dogmatics"	"Christian Dogmatics" owned by Hatano Masune	イギリス(T&T Clark) / 1874(明治7年) / ハンス・ラッセン・マルテンセン / 紙製、書冊	縦23.2×横15.5		西南学院大学図書館 (波多野文庫)
36	ラーネッド講 述 羅馬書註解	Learned's Commentary on the Epistles of Paul to the Romans	日本(福音社) / 1892(明治25年) / D・W・ラーネッド / 紙製、書冊	縦19.3×横14.0		西南学院大学図書館

特別展Ⅱ

「聖母の美－諸教会におけるマリア神学とその芸術的展開－」実施報告

会期：2019年11月1日(金)～2020年1月25日(土)

前期展示：2019年11月1日(金)～2019年12月14日(土)

後期展示：2019年12月17日(火)～2020年1月25日(土)

主催：西南学院大学博物館

協力：聖カタリナ大学、福岡女学院大学図書館、九州産業大学図書館

後援：福岡県、福岡市、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団

担当：下園知弥(学芸員)、山尾彩香(学芸研究員)

事業内容

本展覧会は、西南学院大学博物館がこれまで収集してきた「聖母マリア」に関する資料を中心として、聖母マリアの芸術とその根底にある思想「マリア神学」を紹介する企画である。西南学院大学はキリスト教主義の大学であり、その大学に付属する西南学院大学博物館もまた、キリスト教の文化・伝統を伝えるという役割を担っている。イエス・キリストの母である聖母マリアは、教派の別を問わずキリスト教にとって極めて重要な存在と見做されており、西南学院大学博物館も聖母マリアに関連する資料を数多く収集してきた。しかしながら、当館の歴史において、聖母マリアに焦点をあてた展覧会はこれまで開催されてこなかった。そこで、聖母マリアという存在とそれにまつわる文化・伝統を学内外の人々に広く知ってもらうために、本展覧会を企画した次第である。本展覧会の開催に際しては、愛媛県の聖カタリナ大学、福岡県の福岡女学院大学図書館および九州産業大学図書館より貴重な絵画・複製写本を借用させていただき、資料の充実を図った。また、関連事業として、マリア神学(聖母神学)の研究者である稲垣良典氏(九州大学名誉教授)をお招きして講演会を開催するなど、聖母マリアについて学ぶことのできる教育普及事業も多数企画した。



開催概要

聖母マリアは、キリスト教世界においてとりわけ親しまれ、崇敬されてきた存在の一つです。キリスト教は、その長い歴史の中で、聖母を主題とした数多くの芸術作品を生み出してきました。これらの芸術作品は、時代や地域によって異なる多様性を示す一方で、聖母にまつわる神学、すなわちマリア神学(Mariology)を共通の土台としています。喩えるならば、一本の大木の根と幹、そして幾重にも分かれた枝がマリア神学であり、そこに咲いている美しい花々が聖母の芸術なのです。

本展覧会では、聖母マリアを主題とするさまざまな芸術を、神学思想と共に辿っていくことで、聖母の美の多様性と普遍性に迫ります。

第1章 ORA PRO NOBIS SANCTA DEI GENITRIX

(神の聖母よ、われらのために祈りたまえ)

中世のカトリック信徒たちは、聖母マリアに対して「われらのために祈りたまえ」と祈願していました。彼らにとって、聖母マリアとは、主イエス・キリストの母であり、地上の信徒と天上のイエスを結びつける聖人・聖女たちの中でも至聖の存在でした。今も遺る中世の祈祷書や思想書、そして聖母を描いた芸術の数々は、その事実を明確に示しています。

第2章 近代における聖母崇敬の継承と発展

古代から中世におかれて形成された聖母崇敬は、近代に入って継承と発展の時期を迎えます。西欧のキリスト教をカトリックとプロテスタントに二分した宗教改革は、神の母であるマリアをどのような存在として理解すべきかを問う重要な機会となりました。そしてこの問題が、神学論争を生み、芸術を発展させる活力となりました。

1節 プロテスタントにおける聖母崇敬

2節 カトリックにおける聖母崇敬

第3章 非西欧圏における聖母崇敬

西欧においてそうであったように、東欧や南米、アジア・アフリカの国々においても、聖母崇敬は広く受け容れられ、西欧とは異なる様式で聖母芸術を实らせていきました。正教会のイコン、フィリピンのサント(木彫りの聖人像)、メキシコの奉納画、そして日本のキリシタンが描いた聖母像は、聖母のイメージがそれぞれの地域の文化と融合し、その地域の伝統として根付いていった事実を示しています。

1節 正教会におけるイコンと聖母

2節 フィリピンの聖母

3節 メキシコの聖母

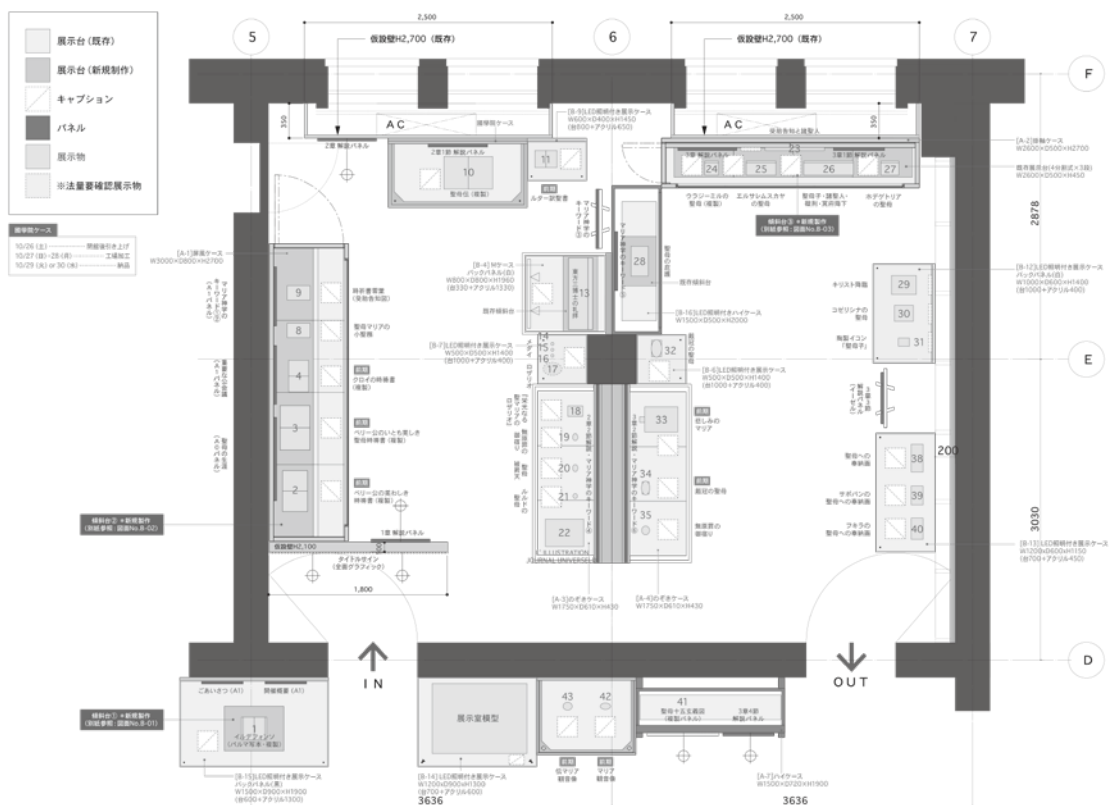
4節 キリシタンと聖母

第4章 現代の聖母芸術——A・カルペンティールの聖母

聖母芸術は、現代に至るまで、途絶えることなく継承されてい信仰の遺産です。現代のキリスト教徒たちもまた、数多くの聖母を主題とする芸術を生み出しています。ドミニコ会士の芸術家アルベルト・カルペンティールは、現代における聖母芸術の担い手の一人と言えるでしょう。本章では、聖カタリナ大学に所蔵されているカルペンティールの聖母を紹介します。

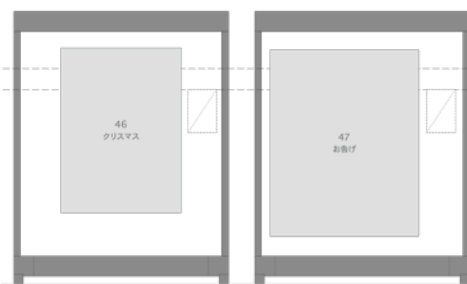
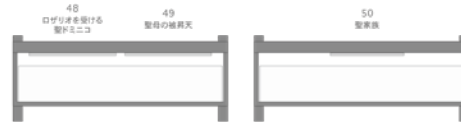
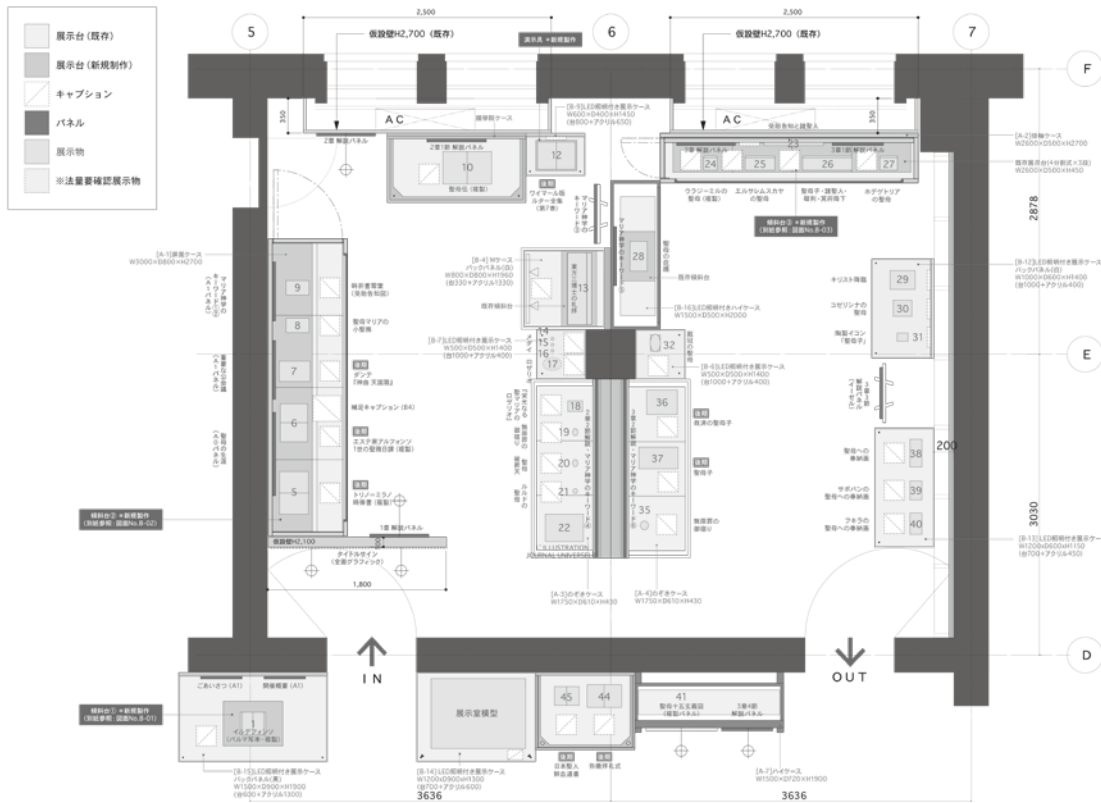


特別展示室レイアウト

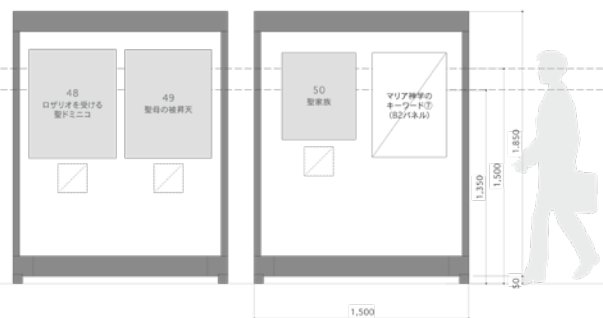


前期
11月1日(金)
~12月14日(土)

後期
12月16日(月)
~1月25日(土)



2階展示ケース左側



2階展示ケース右側

■西南学院大学博物館2019年度特別展Ⅱ

「聖母の美—諸教会におけるマリア神学とその芸術的展開—」出品目録一覧

番号	資料名	年代／作成地／形状／制作・出版者／ 素材・形態（ ）内は原資料	法量 (縦×横cm)	所蔵	展示期間
■第1章 ORA PRO NOBIS SANCTA DEI GENITRIX (神の聖母よ、われらのために祈りたまえ)					
1	トレドのイルデフォンسس『至福なるマリアの処女性について』(パルマ写本・複製)	2010年／モデナ／Il Bulino／複製本 (1090-1100年頃／フランス／不詳／羊皮紙に彩色)	23.0×16.0	西南学院大学博物館(パラディナ図書館)	通期
2	ペリー公の美わしき時禱書(複製)	2003年／ルツェルン／Faksimile Verlag／複製本(15世紀初頭／フランス／ランブール兄弟／羊皮紙に彩色)	25.0×19.5	福岡女学院大学図書館(クロイスターズ美術館)	前期
3	いとも美しき聖母時禱書(複製)	1992年／ルツェルン／Faksimile Verlag／複製本(1380年代、1404-09年頃、1412年頃／フランス／ジャン・ドルレアンほか／羊皮紙に彩色)	29.0×21.5	九州産業大学博物館(フランス国立図書館)	前期
4	クロイの時禱書(複製)	1993年／ルツェルン／Faksimile Verlag／複製本(1510-20年／ベルギー／シモン・ベニングほか／羊皮紙に彩色)	20.0×15.5	九州産業大学博物館(オーストラリア国立図書館)	前期
5	トリノ=ミラノ時禱書(複製)	1994年／ルツェルン／Faksimile Verlag／複製本(1380-90、1421年／フランス／ヤン・ファン・エイクほか／羊皮紙に彩色)	29.2×21.6	西南学院大学博物館(トリノ市立古典美術館)	後期
6	エステ家アルフォンソ1世の聖務日課(複製)	2002年／モデナ／Il Bulino／複製本(1505-10年頃／フェッラーラ／マッテオ・ダ・ミラノ／羊皮紙に彩色)	27.5×19.3	西南学院大学博物館(カレスト・グルベンキアン財団博物館、ストロスマイヤーギャラリー)	後期
7	ダンテ『神曲 天国篇』	1491年／ヴェネツィア／ピエトロ・デ・ピアージ／紙に活版・木版	31.2×20.6	西南学院大学博物館	後期
8	聖母マリアの小聖務	1480年頃／北フランス／不詳／羊皮紙に彩色	15.0×9.9	西南学院大学博物館	通期
9	時禱書零葉「受胎告知図」	1500年頃／ヨーロッパ／不詳／羊皮紙に活版、彩色、メタルカット)	31.0×25.5	西南学院大学博物館	通期
■第2章 近代における聖母崇敬の継承と発展					
第1節 プロテスタントにおける聖母崇敬					
10	アルブレヒト・デューラー『聖母伝』(複製)	2015年／サラマンカ／CM Editores／複製本(1511年／ドイツ／アルブレヒト・デューラー／書冊、木版)	32.7×24.5	西南学院大学博物館	通期
11	ルター訳聖書	1763年／ヴォルムス／ダニエル・バルトロマイ／紙に活版・銅板	17.0×11.2	西南学院大学博物館	前期
12	ヴァルマル版ルター全集(第7巻)	1966年(1897年初版)／ヴァイマル／Humann Böhlau／書冊	27.8×19.0	西南学院大学博物館	後期
第2節 カトリックにおける聖母崇敬					
13	東方三博士の礼拝	17世紀以降／フランドル／不詳／カンヴァスに油彩、額装	72.5×51.0	西南学院大学博物館	通期
14	メダイ「ピエタ」	17世紀／ヨーロッパ／不詳／青銅	2.3×2.0	西南学院大学博物館	通期
15	メダイ「無原罪の御宿り」	1854年／イタリアもしくはフランス／不詳／青銅	3.8×2.8	西南学院大学博物館	通期
16	メダイ「無原罪の御宿り」	1854年頃／フランス／不詳／青銅	3.5×2.5	西南学院大学博物館	通期
17	ロザリオ	1900年頃／ヨーロッパ／不詳／合金、樹脂	全長: 43.0 十字架: 3.5×2.5 メダイ: 1.0×0.8	西南学院大学博物館	通期
18	アルベルト・ダ・カステッロ『栄光なるおとめマリアのロザリオ』	1556年／ヴェネツィア／不詳／紙に活版・木版、羊皮紙装丁	15.0×10.5	西南学院大学博物館	通期
19	無原罪の御宿り	21世紀／イタリア／PEMA／木製、着色	高19.5×幅8.5×奥行6.5	西南学院大学博物館	通期
20	聖母被昇天	22世紀／イタリア／PEMA／木製、着色	高17.5×幅7.0×奥行5.3	西南学院大学博物館	通期
21	ルルドの聖母	23世紀／イタリア／PEMA／木製、着色	高14.0×幅5.0×奥行4.5	西南学院大学博物館	通期
22	イリュストラシオン第817号	1858年／パリ／イリュストラシオン／雑誌	38.6×27.5	個人蔵	通期

番号	資料名	年代／作成地／形状／制作・出版者／ 素材・形態（ ）内は原資料	法量 (縦×横cm)	所蔵	展示期間
■第3章 非西欧圏における聖母崇敬					
第1節 正教会におけるイコンと聖母					
23	受胎告知と諸聖人	19-20世紀／ルーマニア／不詳／ガラスに 彩色, 額装	71.0×61.0	西南学院大学博物館	通期
24	ウラジーミルの聖母 (複製)	21世紀／ロシア／不詳／板に彩色(12世紀/ ビザンティン／不詳／板にテンペラ)	19.0×13.7	西南学院大学博物館 (トレチャコフ国立美術館)	通期
25	エルサレムスカヤの聖母	1816年／ロシア／不詳／板にテンペラ	34.0×29.5	西南学院大学博物館	通期
26	聖母子・諸聖人・磔刑・冥 府降下	19-20世紀／エチオピア／不詳／板・織布に 彩色	35.7×26.6(開 き:横49.8)	西南学院大学博物館	通期
27	ホデゲトリアの聖母	19世紀／ロシア／不詳／板に彩色	25.5×18.0	西南学院大学博物館	通期
28	聖母の庇護	18世紀／ロシア／不詳／板に彩色	44.2×39.4	西南学院大学博物館	通期
29	キリストの降誕	20-21世紀／ギリシア／不詳／板に彩色	25.0×19.0	西南学院大学博物館	通期
30	コゼリシナの聖母(複製)	21世紀／フィンランド／不詳／板に印刷(19 世紀以前／不詳／不詳／板に彩色)	19.0×16.0	個人蔵(ウスベン スキー大聖堂(フィン ランド))	通期
31	陶製イコン「聖母子」	21世紀／フィンランド／ライヤ・ルーッコネン／陶製	11.0×8.0	個人蔵	通期
第2節 フィリピン					
32	戴冠の聖母	19世紀／フィリピン／不詳／木製, 着色	高28.0×幅13.8× 奥行8.4(台:高3.3× 幅12.5×奥行6.9)	西南学院大学博物館	通期
33	悲しみのマリア	18世紀／フィリピン／不詳／木製, 着色	33.3×25.5(吊 り下げ縦5.2)	西南学院大学博物館	前期
34	戴冠の聖母	19世紀／フィリピン／不詳／木製, 着色	高36.5×幅17.6 ×奥行10.4(台: 高3.3幅12.5× 奥行6.9)	西南学院大学博物館	前期
35	無原罪の御宿り	18世紀／フィリピン／不詳／木製, 着色	高27.5×幅 9.0×奥行8.0	西南学院大学博物館	通期
36	救済の聖母子	19世紀／フィリピン／不詳／板に彩色	31×24.5	西南学院大学博物館	後期
37	聖母子	19世紀／フィリピン／不詳／板に彩色	39.5×21.5	西南学院大学博物館	後期
第3節 メキシコの聖母					
38	聖母への奉納画	20-21世紀／メキシコ／不詳／金属製, 着色	23.0×28.0	西南学院大学博物館	通期
39	サボパンの聖母への奉納 画	1952年／ハリスコ／不詳／ブリキ製, 着色	30.5×19.0	西南学院大学博物館	通期
40	フキラの聖母への奉納画	1939年／プエブラ／不詳／ブリキ製, 着色	20.0×26.0	西南学院大学博物館	通期
第4節 キリシタンと聖母					
41	マリア十五玄義図(複製)	2019年／日本／ツカサ創研／紙に印刷・額装 (17世紀初頭／日本／不詳／紙本着色, 額装)	73.9×60.9	西南学院大学博物 館(京都大学総合 博物館)	通期
42	マリア観音像	18-19世紀／中国(福建省・徳化窯)／不詳 ／磁器	高24.0×奥行 6.2×幅10.5	西南学院大学博物館	通期
43	伝マリア観音像	不詳／不詳／不詳／磁器	高17.8×奥行 7.8×幅9.3	西南学院大学博物館	前期
44	彌撒 ^{ミサ} 拜礼式	1869(明治2)年／日本／ベルナルド・プティ ジャン／紙製, 書冊	23.0×17.5	西南学院大学博物館	後期
45	日本聖人鮮血遺書	1887(明治20)年／日本／ヴィリヨン著, 加藤義一 編, 村上勤兵衛等出版／紙製, 書冊, 木版墨摺	18.8×12.5	西南学院大学博物館	後期
■第4章 現代の聖母芸術—A・カルペンティールの聖母					
46	クリスマス	不詳／不詳／アルベルト・カルペンティール/ 油彩, 額装	135.0×109.0 (額込)	聖カタリナ大学	通期
47	お告げ	不詳／不詳／アルベルト・カルペンティール/ 油彩, 額装	130.0×104.0 (額込)	聖カタリナ大学	通期
48	ロザリオを受ける聖ドミニコ	不詳／不詳／アルベルト・カルペンティール/ 版画, 額装	76.0×61.0 (額込)	聖カタリナ大学	通期
49	聖母の被昇天	不詳／不詳／アルベルト・カルペンティール/ 版画, 額装	75.5×60.5 (額込)	聖カタリナ大学	通期
50	聖家族	不詳／不詳／アルベルト・カルペンティール/ 油彩, 額装	60.5×51.5 (額込)	聖カタリナ大学	通期

関連事業

①公開講座「聖母マリアの神学と芸術」

日時：2019年11月2日（土） 13:00～14:30

会場：西南学院大学博物館2階講堂

講師：下園知弥（西南学院大学博物館教員）「教父たちのマリオロジー」

後藤新治（西南学院大学国際文化学部教授）「マリアの図像—「聖母子」の原型と展開を中心に」

②公開講演会「ナザレのマリア—「神の母」vs. 母神—」

日時：2019年11月16日（土） 13:00～14:00

会場：西南コミュニティーセンター1階ホール

講師：稲垣良典（九州大学名誉教授）「ナザレのマリア—「神の母」vs. 母神—」

③クリスマスミニコンサート&ナイトミュージアム

日時：2019年12月17日（火） 17:30～17:45 ※当日は20時まで開館延長

会場：西南学院大学博物館2階講堂

演奏：西南学院大学ハンドベルクワイア

④サテライトパネル展示 in アクロス福岡

会期：2019年11月4日（月）～11月10日（日）

会場：アクロス福岡1階コミュニケーションエリア

⑤アクロス・文化学び塾 ※大学博物館による市民講座提供

日時：2019年11月9日（土） 14:00～15:30

会場：アクロス福岡2階セミナー室2

主催：アクロス福岡

講師：下園知弥（西南学院大学博物館教育）「聖母マリアの芸術と神学」

研究室訪問シリーズⅡ 山根明弘研究室 「ねこ学への招待」実施報告

会期：2019年4月1日(月)～2019年6月29日(土)

会場：西南学院大学博物館

主催：西南学院大学博物館

協力：山根明弘研究室(西南学院大学人間科学部社会福祉学科)、西南学院大学図書館

書肆 吾輩堂、長崎の町ねこ調査隊塾、一般社団法人博多ねこ99ネットワーク

担当：下園知弥(学芸員)

事業内容

研究室訪問シリーズとは、西南学院大学の先生方が研究の合間にコツコツと集めてこられた貴重な個人コレクションを、博物館スタッフと協力して一挙公開するものである。普段は大学の教室や研究論文でしか知ることができない先生方の研究をわかりやすく紹介する。大学における社会の窓口として、大学と地域社会とをつなぐ場となる大学博物館の使命を果たす企画である。

なお、本展覧会は2018年度予算で企画され、2019年度に開催された。



開催概要

わたしたちの身近にいる、かわいくてふしぎな生き物、ねこ。

ねことはどんな生き物なのか、またこの生き物とわたしたち人間は、今までどんな関係を築いてきたのか。

本展では、ねこの生態を明らかにする学問「ねこ学」(Cat Studies)を通じて、わたしたちの知らないねこの世界へ、皆さんを招待します！

第1章 ねことキリスト教

キリスト教が誕生する以前から、ねこと人間は共に生きていました。ねこを最初に飼いならしたのは古代エジプト人だと言われていますが、家畜化したねこは、その後ヨーロッパ世界に持ち込ま

れ、キリスト教徒たちの生活にも溶け込んでいました。

中世のキリスト教徒が著した写本の中には、ねこの絵が描かれているものもあります。写本の中に描かれたねこたちは、生き活きとしており、どこかユーモラスで、キリスト教徒たちがこの動物に愛着・好奇心を抱いていたことがわかります。その一方で、ねこを敵視するキリスト教徒たちもいました。彼らは、ねこを魔女の化身・使い魔と考えて、この動物に対して残酷な仕打ちをしました。

このように、ねことキリスト教の関係の歴史には、正と負の両方の側面があります。これから先、ねことキリスト教はどのような関係を築いていくのでしょうか。その答えは、現代のキリスト教が「ねこ」という動物とどのように向き合おうとしているかに掛かっていると言えるでしょう。

第2章 ねこ学への招待

福岡県相島(あいのしま)では、30年以上も前からノラネコを対象としたフィールドワークが行われています。島に棲むノラネコのすべてに名前をつけて、その行動を長期間にわたり追跡する生態学的なアプローチは、ノラネコの社会や生態に数多くの発見をもたらしました。このような「ねこ学」研究の成果は、他の野生動物社会の究明へのヒントにもなり、世界の研究者からも注目を集めています。

今回の展示では、相島の「ねこ学」研究の成果について解説するのとともに、30年前の研究資料や、現在使われている調査道具なども展示し、みなさんを「ねこ学」の世界へと誘います。また、子供達にも簡単にできる、街中のノラネコ調査の方法についても解説しています。



関連事業

①「山根明弘先生トークイベント&ミュージアムコンサート」

日時：2019年5月25日(土) 13:00～15:00

会場：西南学院大学博物館2階講堂

講師：山根明弘(西南学院大学人間科学部社会福祉学科教授)

演奏：西南学院大学応援指導部吹奏楽団

②せいなんワークショップ「教えて！ あなたのネコ研究」

日時：2019年4月1日(月)～6月29日(土)

会場：西南学院大学博物館エントランス、1階廊下

企画展

「文化財とともに生きていく—ドージャー記念館 次の100年に向けて—」実施報告

会期：2020年2月3日(月)～2020年4月9日(木)

※新型コロナウイルスの感染拡大に鑑み、4月4日(土)より臨時休館

主催：西南学院大学博物館

協力：光ステンド工房、株式会社一粒社ヴォーリス建築事務所、西南学院史資料センター、南島原市

担当：鬼東芽依(学芸調査員)、西山萌(同)、早田萌(同)、木村新菜(同)、内野舞衣(同)、
宮川由衣(学芸研究員)

事業内容

ドージャー記念館は、2020年に着工から100年を迎える西南学院大学博物館の建物である。1920年に西南学院の本館として建てられ、学び舎として多くの卒業生を見送った。2003年に中等部・高等部が百道に移転することとなり、それまで校舎として使用されていたドージャー記念館は、西南学院大学博物館として生まれ変わるために耐震・修復工事が行われた。2004年には「福岡市指定有形文化財」、2015年には「福岡県指定有形文化財」に登録され、「文化財」としての顔も持っている。本展覧会では、そのようなドージャー記念館を軸に文化財と共存していくこと、つまり、文化財の保存・活用について、博物館スタッフ・来館者がともに再検討していくことを目的に企画した。本展覧会の開催に際して、株式会社一粒社ヴォーリス建築事務所、西南学院史資料センター、南島原市の協力により、貴重な資料を借用・複製させていただき、展示資料の充実を図った。特に文化財の修復活動については、横浜開港記念館・東北学院大学などのステンドグラスの修復を行ってきた光ステンド工房代表・平山健雄氏の協力のもと、本物のステンドグラスだけではなく修復に使用される道具など充実した展示ができた。平山氏をお招きし、公開講演会を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大を鑑み、中止となった。その他の関連イベントとして、エントランスにオリジナルキャラクター「ジョージくん」のパズルを製作したり、ドージャー記念館のお気に入りの場所を投票したりする設置型のワークショップを開催した。



開催概要

ドージャー記念館は、1920年に西南学院の旧本館として着工され、2020年で着工から100年を迎えます。この100年という年月の間に、学び舎から文化財へ、さらには西南学院大学博物館として生まれ変わりました。ドージャー記念館という「文化財」とともに生きているわたしたちが、「文化財」を保存活用する＝「文化財」とともに生きるということ、ドージャー記念館の100年の歩みとともに、さまざまな観点から見つめなおします。

第1章 ドージャー記念館の100年—学び舎から文化財へ、そして博物館へ

ドージャー記念館は、西南学院旧本館として1920年に着工し、学び舎・西南学院のシンボルとして生徒をはじめとした地域の方々に親しまれてきました。その後、西南学院中高の百道浜キャンパス移転に伴い、改修工事を経て2006年に「西南学院大学博物館」へと生まれ変わりました。2004年には「福岡市指定有形文化財」、2015年には「福岡県指定有形文化財」に登録され、「文化財」としての顔も持っています。第1章では、ドージャー記念館の文化財登録・保存・活用の取り組みや、博物館に生まれ変わるまでの歩みについて見ていきます。

第2章 ヴォーリス建築—生き続けるミッション建築としての文化財

1905(明治38)年、外国伝道の熱意と共に来日したアメリカ人の青年ウィリアム・メレル・ヴォーリス(William Merrell Vories 1880-1964)は、事業家・伝道建築家として生涯日本に留まり続け、日本各地にミッション建築を残していきました。「ヴォーリス建築」と呼ばれるそれらのミッション建築は、在りし日の日本のすがたを伝える「文化財」であるのと同時に、現代もなお信徒たちによって保存・活用されている「生き続けるミッション建築」でもあります。

第3章 甦る文化財—ステンドグラス修復の現場を訪ねて

わたしたちと同じように、文化財もまた時を重ねていきます。時と処を越えて、文化財を守る技術は次の時代に受け継がれてきました。第3章ではステンドグラスの専門家として文化財の保存修復に携わってきた平山健雄さんの仕事を紹介します。美しい中世のステンドグラスが残るフランスで修復技術を学んだ平山健雄さんは、開港場横浜の息吹を今に伝える横浜開港記念館や東日本大震災を経ても耐え、今日も学院の祈りの場として生き続ける東北学院大学のステンドグラスの修復を手掛けました。平山さんの修復によって光が甦り、次の100年に繋がれています。

第4章 学び舎の足跡—学生とともに歩んだ100年

西南学院旧本館(現ドージャー記念館)が完成し、その献堂式が行われたのは1921(大正10)年3月9日午前のことです。同日の午後には西南学院中学校の第一回卒業式が執り行われ、新築の旧本館からは初めての卒業生が巣立っていきました。その後も本館は、時には厳しい戦争や学生運動の時代を乗り越えながら、学生たちの学びや祈りの場として、学院の発展とともに今日までその長い年月を重ねてきました。第四章では、学び舎としての西南学院旧本館・ドージャー記念館が歩んだ100年を、写真や資料を通して見ていきます。

1 節 ありし日の学生たち

2 節 学院今昔物語



関連事業

①「ジョージくんのわくわくパズル」

②「教えて！あなたのお気に入り」

日時：会期中2月3日(月)～4月9日(木)

会場：西南学院大学博物館1階エントランス

③ 公開講演会「ステンドグラスの修復・その技術と理念」

日時：3月14日(土) 14:00～16:00

会場：西南学院大学博物館2階講堂

※新型コロナウイルスの感染拡大に鑑み中止

常設展示室テーマ展示 「蒙古襲来絵詞と元寇防塁」実施報告



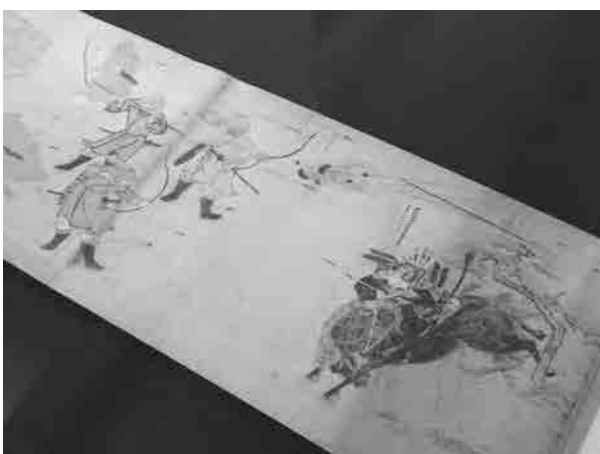
会期：2019年9月～11月

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室

担当：西山萌（学芸調査員）

概要

1274（文永11）年と1281（弘安4）年、北部九州に元軍が二度に渡って襲来してくるという事件が起こった。当時最大規模を誇る元の水軍に対し、鎌倉幕府から命令を受けた武士たちは元寇防塁を築いて本土の防衛に当たった。当時は「蒙古襲来」、現在では「元寇」と呼ばれるこの出来事について、本展示では深く関わる所蔵資料を紹介した。今回展示した絵巻は元軍の襲来を描いた絵巻で、肥後国御家人の竹崎季長が作成を命じたものと言われている。



展示資料：蒙古襲来絵詞（複製） 原資料：13世紀／日本（写真1）

常設展示室博物館ニュース展示

概要

2017年度より年3回刊行している「西南学院大学博物館ニュース」において、博物館資料の紹介を目的としたシリーズ「所蔵品紹介」の記事がある。本展示は、「所蔵品紹介」で取り上げられた資料を、博物館ニュースの刊行にあわせて常設展示室にて展示をするものである。「所蔵品紹介」の記事は学芸調査員が執筆をしており、本展示は担当学芸調査員の展示事業の現地訓練も兼ねている。

2019年度実施報告

2017年度から継続して、2019年度も博物館ニュース展示を実施した。ニュース刊行にあわせて計4回のニュース展示を実施し、キリスト教文化、日本キリスト教文化から2点ずつ展示した。

博物館ニュース第36号展示

「日本キリスト教史 上野公園第三回内国勸業博覧会一覽之図」

担当者 鬼束芽依(学芸調査員)



博物館ニュース第37号展示

「キリスト教文化 エステ家アルフォンソ I 世の聖務日課(複製)」

担当者 田中恵(学芸調査員)



博物館ニュース第38号展示

「キリスト教文化 旧約全書」

担当者 木村新菜(学芸調査員)



博物館ニュース第39号展示

「長崎唐人屋敷騒動鎮圧図」

担当者 早田萌(学芸調査員)



1.2 共同連携事業による展示活動

【南島原市】

産官学連携サテライト展示Ⅳ

「海を渡った印刷文化 —ヴェネツィアから加津佐へ—」



会期：2019年6月1日(土)～2019年10月上旬

会場：南島原市原城図書館

印刷技術が発明される以前の古代・中世において、聖書は写本 (manuscriptum) という形式で制作されていた。写本とは、「手 (manus) で記されたもの (scriptum)」を意味し、修道院や書籍商の写字生によって手書きで記された本のことを指す。15世紀中頃、マイنتツの金属細工職人ヨハネス・グーテンベルク (1398 頃 -1468) によって活版印刷術が実用化されると、ヨーロッパ各地に伝播した。中でも、イタリア北部の都市国家、ヴェネツィア共和国は印刷・出版業の中心として繁栄していた。1585年、ヨーロッパの印刷文化の都であったヴェネツィアを訪問した日本からの遣欧使節

は、活版印刷術を会得して帰国した。こうして活版印刷術は海を渡り、南島原の地で、日本で最初の印刷物が刊行された。本展示会では南島原市と関わりの深い、日本への印刷文化の伝来と発展について紹介した。



産官学連携サテライト展示Ⅴ

「キリスト教の世界宣教と聖像の伝播」

会期：2019年10月23日(水)～2020年4月上旬

会場：南島原市原城図書館

キリスト教の伝統において、イエス・キリストや聖母を描いたイコン (聖像) が深く崇敬されてきた。8世紀にビザンティンでイコノクラスム (聖像破壊運動) が起こるが、イエス・キリストの受肉を根拠に聖像破壊論者の主張は退けられた。16世紀にはヨーロッパにおいて宗教改革派により再び聖像破壊が起こる。これに対し、



世界各地に進出したカトリック教会は、視覚表象としての聖像の効用を重視した。そして、異教徒の宣教にあたって最も多用されたのが聖母像であった。イエズス会を中心とするカトリック教会の宣教とともに世界に伝播した聖像は、各地で土着化と変容を見せる。日本にも多くの聖像がもたらされ、キリスト教禁令が出された後も、



人々はマリア観音と称される白磁製観音像を前に密かに祈った。本展覧会ではイエズス会を中心とするカトリック教会の世界宣教に伴う聖像の伝播とその土着化について紹介した。

相互貸借特集展示XIII 「島原・天草一揆と魂の行方」

会期：2019年7月17日(水)～2019年11月中旬

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室



島原天草一揆では戦乱の中で町家、田畑、寺社が焼き払われ、住民が激減した。荒廃したのは土地だけではなく、人々の心も疲弊していた。島原・天草一揆後、松倉氏の後任として島原藩主となった高力摂津守忠房は、一揆後の立て直しや長崎の警護に尽力した人物である。移民政策は有名であるが、立て直しの1つの策として寺社の再建・創建をおこない、人心の安定をはかった。慶安元年(1648)には天草代官鈴木重成によって供養塔が建てられた。碑文には討ち取った人々の首を埋葬したとある。戦死者の霊魂が虫や妖怪となって住民を悩ましていた。供養をおこなうことで、戦死者の霊魂は成仏し、住民は息災安寧、五穀豊穡となるという。その後、明治期になっても供養はおこなわれた。明治20年(1887)安国寺(熊本県熊本市)

市)で島原・天草一揆後250年の法要が行われる。一揆軍を「賊徒」としつつも細川軍と共に供養した。

南島原市では原城が世界文化遺産となり、キリシタンや島原・天草一揆に注目が集まる中で、前後の歴史にはあまり注目されていない。本展覧会「島原・天草一揆と魂の行方」では、「島原・天草一揆後」の精神面での復興と戦死者の供養について取り上げた。



相互貸借特集展示XIV 「南島原市の文化財の保存と活用 ～「南蛮流医薬書(裏面：阿波郡新開見付之帳)」修復作業～」

会期：2020年2月3日(月)～2020年9月終了予定

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室

昨今、文化財に関して保存だけではなく活用していくことを求められている。本展示では、南島原市で発見された島原・天草一揆に関する史料である「南蛮流医薬書」の修復作業を通して文化財の保存と活用について紹介した。

「南蛮流医薬書」は、平成28年に口之津歴史民俗資料館収蔵資料の再調査の際に発見され、同時に本史料紙背に慶長18年(1613)の「阿波郡新開見付之帳」が残されていることがわかった。もとは「阿波郡新開見付之帳」が書かれたあとに、その紙背(裏面のこと)として「南蛮流医薬書」が書かれたものであるが、現在は「南蛮流医薬書」を表面、「阿波郡新開見付之帳」を裏面として袋綴じ(いわゆる

冊子型に装幀)されている。長崎県内の近世文書の中でも数少ない慶長・寛永期(17世紀前半)の史料として貴重であり、加えて、島原・天草一揆後の移民政策の際、小豆島だけではなく、阿波国から移住もあったことも推察させる史料であり、歴史学上、新たな史実を示すものであるといえる。



貴重な地域の史料であるが、虫や小動物の食害による紙の欠失が見られることや水損による汚れやシミ、カビが生じていた。紙が腐食し脆弱化していることが目視によっても明らかであった。取り扱いおよび利用、保存さえ困難な状態であった。そのため、南島原市では平成30年度に本格解体修理を行った。修復後の「南蛮流医薬書」(実物)は令和元年度南島原市・西南学院大学博物館連携特別展「碑に刻む—供養される霊魂たち—」で2月6日(木)～3月1日(木)まで南島原市口之津町で展示・公開が行われた。

令和元年度南島原市・西南学院大学博物館連携特別展 「碑に刻む 供養される霊魂たち」

会期：2020年2月6日(木)～2020年3月1日(日)

会場：南島原市口之津図書館3階ホール

主催：南島原市教育委員会

協力：西南学院大学博物館

島原半島では寛永十四(1637)年に島原・天草一揆が起こり、その後戦没者の供養塔が建立された。供養をおこなうことで霊魂は成仏し、住民は息災安寧・五穀豊穡となるという。一方で島原藩主の高力忠房・松平忠房は人々の心の安定のために寺社への寄進といった復興に着手していた。

自然災害においても供養塔は建立されている。寛政四(1792)年に眉山が崩壊し、津波が起こった(島原大変)。その後、亡くなった人々のために藩や民間の手で供養が行われる。



「記憶の伝承」として地域に何気なく建つ碑の意味を取り上げ、島原半島での供養の歴史を見ていく。



2. 教育・研究活動

博物館実習

実習概要

2019年度は実習生6名を受け入れ、2019年9月21日(土)から2020年1月11日(土)まで、計8日間の博物館実習を実施した。初日は、午前に施設案内および基礎学習となるオリエンテーションを行い、午後は企画展(博物館実習成果展)の展示計画を課題とした。展示計画では、資料選定から役割分担に至るまで実習生にすべて発案させ、展示企画書を提出させた。

実習2日目から5日目にかけては、企画展準備作業を指導した。展示企画書に基づき、リーダー、資料研究、教育普及、デザインの4グループに役割分担をし、企画展の準備を進めた。実習6日目は企画展の設営を行った。博物館1階常設展示室を会場とし、資料の梱包、搬出、搬入、造作等を学芸員指導のもと行い、設営を完了させた。実習7日目は、学芸員(教育普及担当)の指導のもと、ワークショップの運営を行った。実習8日目(最終日)は、企画展の撤収を行った。設営のときと同様に、資料の梱包から搬出入、後片付けを行い、博物館業務における企画展の一連の作業を終了した。

なお、2019年度は、実習生全体に対する指導に加えて、欠席者(実習生都合による)に対する個別指導も別日程で3回実施した。

【2019年度博物館実習生】

伊藤修(国際文化研究科)／松田奈穂子(神学部神学科)／宮本昂侍(神学部神学科)／荒田雅子(法学部国際関係法学科)／日高未来(法学部国際関係法学科)／小林健人(国際文化学部国際文化学科)

【実習風景】



西南学院大学博物館博物館実習スケジュール2019

実習生：6名

実習担当：下園知弥

期間：9月21日(土)、9月28日(土)、10月12日(土)、10月26日(土)、11月9日(土)、11月30日(土)、12月7日(土)、
1月11日(土)、計8回

	9月21日(土)		9月28日(土)		10月12日(土)		10月26日(土)	
午前	10:00	大学博物館集合	10:00	百年館3階集合	10:00	百年館3階集合	10:00	百年館3階集合
	10:10	オリエンテーション 展示室見学 収蔵庫見学	10:10	企画書検討会	10:10	企画展作業②	10:10	企画展作業④
午後	昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)	
	13:00	企画展の作り方について	13:00	進捗報告	13:00	進捗報告	13:00	進捗報告
	14:00	企画展考案(クリスマス展) 企画書作成	13:30	企画展作業①	13:30	企画展作業③	13:30	企画展作業⑤
	16:30	企画展検討会						
	17:00		17:00	進捗報告	17:00	進捗報告	17:00	進捗報告
	17:30	実習日誌作成	17:30	実習日誌作成	17:30	実習日誌作成	17:30	実習日誌作成
	18:00	解散	18:00	解散	18:00	解散	18:00	解散

	11月9日(土)		11月30日(土)		12月7日(土)		1月11日(土)	
午前	10:00	百年館3階集合	9:00	大学博物館集合	10:00	大学博物館集合	10:00	大学博物館集合
	10:10	企画展作業⑥	9:10	企画展設営 ワークショップ設営 終了次第、解散	10:10	ワークショップ予習	10:10	企画展撤収
午後	昼食(12:00 - 13:00)				昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)	
	13:00	企画展作業⑦			13:00	ワークショップ運営	13:00	反省会
					14:30		実習日誌作成	
							15:00	解散
	17:00	最終確認			16:00	ワークショップ撤収		
	17:30	実習日誌作成			17:00	撤収完了・反省会		
	18:00	解散			17:30	実習日誌作成		
				18:00	解散			

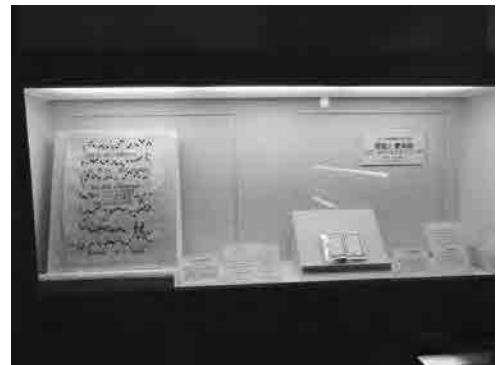
2019年度博物館実習成果展

「聖歌と讃美歌～二つのクリスマスソング～」実施報告

会期：2019年11月30日（土）～2020年1月10日（金）

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室

2019年度博物館実習成果展では、西南学院大学博物館が所蔵する資料を実習生が選別し、常設展示室内で企画展示を行った。実習生自ら、テーマを設定し、開催概要、キャプション、解説パネル、クロスワードパズル、ポスター等の作成を行った。クリスマスというコンセプトは博物館が指定したが、聖歌および讃美歌というテーマの決定および展示構成案はすべて実習生の自主的な判断に基づく。



【開催概要】

今回の企画展では、聖歌集の一種である「典礼聖歌『待降節第四主日』』と讃美歌集である『バプスト讃美歌集』を展示します。また、ワークショップでは、クロスワードパズルを実施し、館内からキーワードを探して、完成した方にはオリジナルポストカードをプレゼントします。さらに、クリスマスについてもパネル展示で紹介します。

【展示資料】

1. 典礼聖歌「待降節第四主日」
17世紀／羊皮紙、手彩色／西南学院大学博物館
2. バプスト讃美歌集（複製）
1545年（1988年）／ライブツィヒ／紙、活版／西南学院大学博物館

【会期中来館者数】 開催日数28日

	来館者数
2018年11月30日	13
12月2日	30
3日	4
4日	4
5日	5
6日	5
7日	16
9日	5
10日	7
11日	0
12日	12
13日	0
14日	14
16日	29
17日	21
18日	38
19日	108
20日	106
21日	16
23日	25
24日	15
26日	7
27日	40

	来館者数
2020年1月6日	24
7日	8
8日	6
9日	16
10日	17
合計	591

【アンケート】

番号	来館日	特別展の きっかけ	満足度	わかりやすさ	感想等	来館頻度	住まい	年代	性別	職業	西南関係者
1	12月2日	西南学院関係 者から聞いた	大変満足	わかりやすい	これで2回目又きます のでよろしくおねがい します マリヤ様もたい へんじだいたい(むかし)	2回目	福岡市	70代	女性	その他	
2	12月7日	ポスター・チ ラシ	大変満足	わかりやすい	新たな発見があり、良 かった。	特別展 ごと	九州	60代	男性	公務員	
3	12月7日	ポスター・チ ラシ	大変満足	わかりやすい	テーマに沿った展示を 分かり易く展示してい て子供達にも理解出来 そう、クリスマスらしく 良かった。	特別展 ごと	福岡県	50代	女性	教員	
4	12月13日	ポスター・チ ラシ	大変満足	わかりやすい		初めて	福岡市	20代	女性	会社員	卒業生
5	12月14日	ポスター・チ ラシ	大変満足	わかりやすい		2回目	早良区	50代	女性	教員	
6	12月14日	ポスター・チ ラシ、ホーム ページ	大変満足	わかりやすい	貴重な資料をたくさん 見ることが出来ました	初めて	東北	40代	女性	研究職	
7	12月14日	ポスター・チ ラシ	大変満足	わかりやすい		初めて	東海	40代	男性	会社員	
8	12月17日	ポスター・チ ラシ	満足	分かりやすい	数年前、別の大学です が私も大学ミュージア ムで館内実習をしたこ とを思い出しました。と てもステキな展示でし た。	特別展 ごと	福岡県	50代	女性	公務員	
9	12月20日	ポスター・チ ラシ	大変満足	分かりやすい	素晴らしかったです。	月に一度	福岡市	20代	女性	大学生	学生 (学部)
10	12月21日	西南学院関係 者から聞いた	大変満足		充実していました。クリ スマスらしくて良かった。	年に数回	福岡市	50代	女性	会社員	
11	1月10日	博物館前を通 りかかって	満足	普通	貴重な資料を見ることが 出来、有意義でした		福岡市	50代	男性	会社員	

2019年度 せいなんワークショップ概要

2019年度はせいなんワークショップを計6回開催した。

第1回 4月1日(月)～6月29日(土) 教えて！あなたのネコ研究

会場：西南学院大学博物館エントランス、廊下 対象：一般 参加者：約300名

常設型のワークショップ。企画展「ねこ学への招待」の関連イベント。山根明弘先生のノラネコ研究の際に用いる「個体識別カード」をワークシートとして活用。来館者に身近にいる猫(ノラネコから空想上の猫まで)を観察したものを描いてもらい、館内の廊下および掲示板などで展示した。



第2回 8月23日(金) オリジナルうちわを作ろう！

会場：西南学院大学博物館 対象：小学生 参加者：9名 学生ボランティア：1名

特別展「明治日本とキリスト教」の関連イベントかつ夏休みせいなんこどもワークショップとして開催。特別展を博物館スタッフによるガイドツアーで学んだ後、展示資料の中から好きなものを選び、うちわにスケッチをした。



第3回 11月30日(土)～1月10日(金) クリスマスツリーをかざろう！

会場：西南学院大学博物館エントランス 対象：一般

常設型のワークショップ。マグネットシートのクリスマスオーナメントに、来館者がマスキングテープなどで装飾し、クリスマスツリーに飾りつけを行った。設置は博物館実習の一環として実施。



第4回 12月7日(土) クリスマスツリーをつくろう!

会場：西南学院大学博物館 対象：小学生 参加者：6名(うち2名未就学児) 実習生：6名
 特別展「聖母の美」および博物館実習成果展「聖歌と賛美歌」の関連イベントとして開催。博物館実習の教育普及活動の一環として、実習生が主体となり、絵本の読み聞かせ、クイズラリー、クリスマスツリーづくりを行った。



第5回 12月14日(土) カリグラフィでクリスマスカードづくり

会場：西南学院大学博物館 対象：一般(高校生以上) 参加者：8名

特別展「聖母の美」の関連イベントとして開催。学芸員によるガイドツアーの後、クリスマスカードをゴシック体のカリグラフィ、箔押しなどを活用して作成した。



第6回 2月3日(月)～4月3日(金) 文化財とともに生きていく展ワークショップ

会場：西南学院大学博物館 対象：一般

常設型のワークショップ。企画展「文化財とともに生きていく」の関連イベントとして開催。博物館でお気に入りの場所にシールをはって投票する「教えて!あなたのお気に入り」、大きなレンガマグネットを積みあげる「ジョージくんのわくわくパズル」、ぬりえを完成させて展示する「ジョージくんぬりえ」を行った。



2019年度 せいなんおでかけワークショップ概要

2019年度のおでかけワークショップは、長崎県南島原市からの依頼で2日間・3会場でのワークショップを実施した。

活版印刷をやってみよう！

8月23日(金) 会場：南島原市深江図書館 参加者：小学生20名

8月24日(土) 会場：南島原市有家図書館 参加者：小学生30名

8月24日(土) 会場：南島原市加津佐図書館 参加者：小学生30名

まず初めに、南島原市文化財課職員による南島原市の歴史のこども向け講義を10分程度行った。その後、西南学院大学博物館による活版印刷機の歴史や使い方の説明をしたのち、ミニ活版印刷機を使用してメッセージカードに日本語・英語・スペイン語で「ありがとう」と印刷する体験を行った。印刷が終わったら、メッセージカードの飾りつけや色塗りを行った。



2019年度 博物館教職員活動記録

宮崎克則 (本学博物館長・国際文化学部教授)

【論文(共著)】

- ・「天保9年 九州へ来た幕府巡見使の報告書－『九州土地大概』の全文紹介と歴史的意義－」(宮崎克則・森弘子共著、『国際文化論集』34-1号、西南学院大学、2019年)
- ・「THE ROYAL SOCIETY FOR THE ENCOURAGEMENT OF HORTICULTURE IN THE NETHERLANDS-established by P. F. von Siebold and C. L. Blume in 1842 -」(宮崎克則・Gerard Thijssse・Isabel Tanaka-Van Daalen共著、『国際文化論集』34-1号、西南学院大学、2019年)
- ・「1830年3月 帰国途中のシーボルトが其扇に送った手紙」(石山禎一・宮崎克則共著、『西南学院大学博物館研究紀要』第8号、西南学院大学博物館、2020年)

【講座】

- ・西南コミュニティーカレッジ「『記録』の中の九州(前期)」全5回(西南コミュニティーセンター、2019年5月9日～6月6日)
- ・西南コミュニティーカレッジ「『記録』の中の九州(後期)」全4回(西南コミュニティーセンター、2019年10月24日～12月5日)

下園知弥 (本学博物館教員(助教・学芸員))

【論文】

- ・「聖母は何故、美しいのか? —『聖母の美』展の結びに代えて—」(下園知弥編『聖母の美—諸教会におけるマリア神学とその芸術的展開—』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年11月)
- ・「西南学院大学博物館所蔵『リラのニコラウスによる聖句註解付きラテン語聖書』3」(『西南学院大学博物館研究紀要』第8号、西南学院大学博物館、2020年)
- ・「『悪魔の画家』から『天使の画家』へ—ヒューゴ・シンベリにおける作品主題の変遷をめぐって—」(『西南学院大学博物館研究紀要』第8号、西南学院大学博物館、2020年)

【解説】

- ・「新島襄と波多野培根」(宮川由衣編『明治日本とキリスト教—蒔かれた種—』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年7月)
- ・「A・カルペンティールの信仰と芸術」(下園知弥編『聖母の美—諸教会におけるマリア神学とその芸術的展開—』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)
- ・海外雑誌論文紹介: Early, Rachel. "Love of Neighbor by Way of the Temporal Dispensation in St. Augustine." In *Augustine Studies*, Volume 49. (京大中世哲学研究会編『中世哲学研究VERITAS』第38号、京大中世哲学研究会、2019年)
- ・海外雑誌論文紹介: Wales, Jordan Joseph. "Contemplative Compassion: Gregory the Great's Development of Augustine's Views on Love of Neighbor and Likeness to God." In *Augustine Studies*, Volume 49. (京大中世哲学研究会編『中世哲学研究VERITAS』第38号、京大中世哲学研究会、2019年)
- ・海外雑誌論文紹介: Arblaster, John. "Flowing from the Wild Sea and Back to the Sea": Water

Metaphors an Mystical Union in the Late Medieval Low Countries.” In *Journal of Religion*, Volume 98. (京大中世哲学研究会編『中世哲学研究VERITAS』第38号、京大中世哲学研究会、2019年)

- ・海外雑誌論文紹介：Eldevik, John. “Sains, Pagans, and the Wonders of the East: The Medieval Imaginary and Its Manuscript Contexts.” In *Traditio*, Volume 71. (京大中世哲学研究会編『中世哲学研究VERITAS』第38号、京大中世哲学研究会、2019年)
- ・「キリスト教における『死者への祈り』の伝統」(中山和子編『南島原市・西南学院大学博物館連携特別展図録 碑に刻む—供養される靈魂たち—』、南島原市教育委員会、2020年)

【学会発表】

- ・「愛による神化—クレルヴォーのベルナルドゥスにおけるdeificatio概念とその源泉—」(西洋中世学会第11回大会、大阪市立大学、2019年6月22日)
- ・「クレルヴォーのベルナルドゥスにおける隣人愛」(日本基督教学会第67回学術大会、青山学院大学、2019年9月10日)

【講座】

- ・西南コミュニティーカレッジ「明治日本とキリスト教」、第4回「明治日本のキリスト教教育」(西南コミュニティーセンター、2019年7月9日)
- ・西南コミュニティーカレッジ「世界遺産を考える」、第1回「世界遺産とは何か——その制度・歴史・問題点をめぐって」(西南コミュニティーセンター、2019年10月4日)
- ・西南学院大学博物館特別展関連公開講座「聖母マリアの神学と芸術」、第1部「教父たちのマリオリジー」(西南学院大学博物館2階講堂、2019年11月2日)
- ・アクロス・文化学び塾「聖母マリアの芸術と神学」(アクロス福岡、2019年11月9日)
- ・西南コミュニティーカレッジ「西洋写本学入門—写本を読む」、第1～3回(西南コミュニティーセンター、2019年11月15日～29日)

山尾彩香 (本学博物館学芸研究員)

【解説】

- ・「無原罪の御宿りをめぐる神学と芸術」(下園知弥編『聖母の美—諸教会におけるマリア神学とその芸術的展開』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)

【講座】

- ・西南コミュニティーカレッジ「世界遺産を考える」、第3回「世界遺産になった博物館」(西南コミュニティーセンター、2019年10月18日)

宮川由衣 (本学博物館学芸研究員)

【論文】

- ・「近代日本キリスト教の萌芽—禁教下におけるプロテスタント宣教師の活動をめぐって」(宮川由衣編『明治日本とキリスト教—蒔かれた種—』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)
- ・「サンクタ・マリアとしての白磁製観音像—潜伏キリシタン伝来の『マリア観音』をめぐって—」

(『西南学院大学博物館研究紀要』第8号、西南学院大学博物館、2020年)

【解説】

- ・「S・W・ウィリアムズ—黒船で来航した宣教師」(宮川由衣編『明治日本とキリスト教—蒔かれた種—』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)
- ・「安政五カ国条約における『信教の自由』の規定」(宮川由衣編『明治日本とキリスト教—蒔かれた種—』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)
- ・「各開市・開港場と宣教師の活動」(宮川由衣編『明治日本とキリスト教—蒔かれた種—』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)
- ・「宣教医ヘボン」(宮川由衣編『明治日本とキリスト教—蒔かれた種—』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)
- ・「開港場箱館から—ニコライ司祭と新島襄—」(宮川由衣編『明治日本とキリスト教—蒔かれた種—』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)
- ・「アメリカン・ボード」(宮川由衣編『明治日本とキリスト教—蒔かれた種—』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)
- ・「テオトコス」(下園知弥編『聖母の美—諸教会におけるマリア神学とその芸術的展開—』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)
- ・「日本にもたらされたロザリオ祈禱」(下園知弥編『聖母の美—諸教会におけるマリア神学とその芸術的展開—』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)
- ・「潜伏キリシタンと聖母像」(下園知弥編『聖母の美—諸教会におけるマリア神学とその芸術的展開—』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)

【講座】

- ・西南コミュニティーカレッジ「明治日本とキリスト教」、第2～3回(西南コミュニティーセンター、2019年6月25日～7月2日)
- ・西南コミュニティーカレッジ「世界遺産を考える」、第2回「文化遺産とともに生きていく—日本の世界文化遺産をめぐって」(西南コミュニティーセンター、2019年10月11日)
- ・西南コミュニティーカレッジ「西洋写本学入門—写本を読む」、第4～5回(西南コミュニティーセンター、2019年12月6日～13日)

西山萌 (本学博物館学芸調査員)

【解説】

- ・「明治日本のプロテスタント讃美歌」(宮川由衣編『明治日本とキリスト教—蒔かれた種—』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)

鬼束芽依 (本学博物館学芸調査員)

【論文】

- ・「考古学の先駆者としての吉田雀巢庵—『尾張名古屋博覧会目録』を通して」(『西南学院大学博物館研究紀要』第8号、西南学院大学博物館、2020年)

【論文(共著)】

- ・「ナチス絶滅収容所の発掘」(伊藤慎二・鬼束芽依・山本恵梨共著『国際文化論集』34-2号、西南学院大学、2020年)

【解説】

- ・「アメリカ・オランダ改革派教会宣教師フルベッキ 明治日本の近代化とキリスト教普及の立役者」(宮川由衣編『明治日本とキリスト教―蒔かれた種―』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)
- ・「文化財を『保存活用』する―西南学院大学博物館と南島原の連携活動をとおして」(中山和子編『南島原市・西南学院大学博物館連携特別展図録 碑に刻む―供養される霊魂たち―』南島原市教育委員会、2020年)

田中恵 (本学博物館学芸調査員)

【論考】

- ・「横浜天主堂と大浦天主堂における二つの捕縛事件 パリ外国宣教会の対応を中心に」(宮川由衣編『明治日本とキリスト教―蒔かれた種―』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)

【解説】

- ・「パリ外国宣教会 期待されていた信徒発見」(宮川由衣編『明治日本とキリスト教―蒔かれた種―』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)

早田萌 (本学博物館学芸調査員)

【解説】

- ・「日本における女子教育の開花と発展」(宮川由衣編『明治日本とキリスト教―蒔かれた種―』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)

木村新菜 (本学博物館学芸調査員)

【解説】

- ・「陽明学とキリスト教」(宮川由衣編『明治日本とキリスト教―蒔かれた種―』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)

内野舞衣 (本学博物館学芸調査員)

【解説】

- ・「明治期における児童教育 長崎・外海地区におけるド・ロ神父の活動について」(宮川由衣編『明治日本とキリスト教―蒔かれた種―』西南学院大学博物館研究叢書、花乱社、2019年)

博物館刊行物・成果物

西南学院大学博物館 研究紀要第8号

A4版
160頁
発行日
2020年3月31日

目次

— 論 文 —

1830年3月 帰国途中のシーボルトが其扇に送った手紙	石山 禎一 宮崎 克則	3
サンクタ・マリアとしての白磁製観音像 — 潜伏キリシタン伝来の「マリア観音」をめぐって —	宮川 由衣	29
考古学の先駆者としての吉田雀巢庵 — 「尾張名古屋博覧会目録」を通して —	鬼東 芽依	41
法起寺式伽藍配置をとる古代寺院の集成	貞清 世里	51
「悪魔の画家」から「天使の画家」へ — ヒューゴ・シンペリにおける作品主題の変遷をめぐって —	下園 知弥	73
史料紹介『除墨帳』(一)	長屋 佳歩 安高 啓明	89(54)
— 資料紹介 — 西南学院大学博物館所蔵 「リラのニコラウスによる聖句註解付きラテン語聖書」3	下園 知弥	143

2019年度 西南学院大学 博物館特別展 I

B5版
64頁
発刊日
2019年7月15日
編者
宮川由衣



目次

ごあいさつ

西南学院大学博物館館長 宮崎克則	2
目次	3
開催概要・凡例	4

第1章 開国 信教の自由に向けて	5
【コラム】S・W・ウィリアムズ 黒船で来航した宣教師 西南学院大学博物館学芸研究員 宮川由衣	11
【コラム】バリ外国宣教会 期待されていた信徒発見 西南学院大学博物館学芸調査員 田中恵	18
第2章 近代キリスト教の初穂 日本近代化とキリスト教	19
【コラム】開港場箱館から ニコライ司祭と新島襄 西南学院大学博物館学芸研究員 宮川由衣	33
【コラム】アメリカ・オランダ改革派教会宣教師フルベッキ 明治日本の近代化とキリスト教普及の立役者 西南学院大学博物館学芸調査員 鬼東芽依	34
第3章 よきおとずれ	37
【コラム】明治日本のプロテスタント讃美歌 西南学院大学博物館学芸調査員 西山萌	40
【コラム】日本における女子教育の開花と発展 西南学院大学博物館学芸調査員 早田萌	41
【コラム】明治期における児童教育 長崎・外海地区における ド・ロ神父の活動について 西南学院大学博物館学芸調査員 内野舞衣	42
第4章 教育者・波多野培根 西南学院の礎	43
【コラム】新島襄と波多野培根 西南学院大学博物館学芸員 下園知弥	47
【コラム】陽明学とキリスト教 西南学院大学博物館学芸調査員 木村新菜	48
論考	
近代日本キリスト教の萌芽 禁教下におけるプロテスタント宣教師の活動をめぐって 西南学院大学博物館学芸研究員 宮川由衣	50
横浜天主堂と大浦天主堂における二つの捕縛事件 バリ外国宣教会の対応を中心に 西南学院大学博物館学芸調査員 田中恵	55
日本の近代化とキリスト教 熊本バンドの場合 西南学院大学国際文化学部国際文化学科教授 塩野和夫	58
出品目録	63

2019年度
西南学院大学
博物館特別展Ⅱ

B 5 版
80頁
発刊日
2019年11月1日
編者
下園知弥



目次

ごあいさつ
西南学院大学博物館館長 宮崎克則…………… 2
目次…………… 3
開催概要・謝辞・凡例…………… 4

第1章 ORA PRO NOBIS SANCTA DEI GENITRIX
神の聖母よ、われらのために祈りたまえ…………… 5
【コラム】境界線上のマリア
西南学院大学大学院国際文化研究科研究生 坂本環… 18

第2章 近代における聖母崇敬の継承と発展
第1節 プロテスタントにおける聖母崇敬…………… 20
【コラム】ルター神学と聖母
日本学術振興会特別研究員DC 渡邊蘭子 …… 24
第2節 カトリックにおける聖母崇敬…………… 25
【コラム】無原罪の御宿りをめぐる神学と芸術
西南学院大学博物館学芸研究員 山尾彩香…………… 32

第3章 非西欧圏における聖母崇敬
第1節 正教会におけるイコンと聖母…………… 34
第2節 フィリピンにおける聖母…………… 41
第3節 メキシコにおける聖母…………… 45
第4節 キリシタンと聖母…………… 47
【コラム】潜伏キリシタンと聖母像
西南学院大学博物館学芸研究員 宮川由衣…………… 40

第4章 現代の聖母芸術 A・カルペンティールの聖母
【コラム】A・カルペンティールの信仰と芸術
西南学院大学博物館学芸員 下園知弥…………… 59

出品目録…………… 60
主要参考文献…………… 62

論文
【論考】聖母は何故、美しいのか? 「聖母の美」展の結びに代えて
西南学院大学博物館学芸員 下園知弥…………… 64
【論考】19世紀イギリスにおけるマリア表象
グランドマナーとラファエル前派兄弟団
佐賀大学美術館学芸員 出口智佳子…………… 68
【特別寄稿】聖母神学の根本問題 キリスト信仰と聖母崇敬
九州大学名誉教授 稲垣良典…………… 72

令和元年度
南島原市・西南
学院大学博物館
連携特別展

A 4 版
48頁
発刊日
2020年2月28日
編者
中山和子
(南島原市教育委
員会 文化財課)



目次

ごあいさつ(南島原市)
南島原市教育委員会教育長 永田良二…………… 1
ごあいさつ(西南学院大学博物館)
西南学院大学博物館館長 宮崎克則…………… 2
目次…………… 3
開催概要・凡例…………… 4

【図版】
第一部 島原・天草一揆～寺社復興と戦没者供養…………… 5
【コラム】「キリスト教における「死者の記念」の伝統」
西南学院大学博物館学芸員 下園知弥…………… 15
第二部 自然災害と供養…………… 16
第一章 寛文三年普賢岳噴火…………… 16
第二章 碑に刻む—島原大変—…………… 25

番外編 文化財の保存と活用…………… 35
【コラム】「文化財を「保存活用」する—西南学院大学博物館と南島
原の連携活動をととして」
西南学院大学博物館学芸調査員 鬼束芽依…………… 35
【コラム】「文化財の修理・保存から公開
—「南蛮流医薬書阿波郡新聞見付之帳」修理作業—」
南島原市教育委員会文化財課 中山和子…………… 37

【資料】
論考「碑に刻む—供養される霊魂たち—」…………… 39
主要参考文献…………… 46
出品目録…………… 47
謝辞…………… 48

博物館ニュース Volume.37

【2000部発行 発行日2019年5月】



Volume.37
所蔵品紹介:【キリスト教文化】「エステ家アルフォンソ世の聖務日課(複製)」
資料でみる西南学院の歴史①:西新校地選定当時
展覧会紹介:ねこ学への招待/明治日本とキリスト教一瞬かかれた種-
博物館通信:「オルガン・レクチャー・コンサート」ほか

博物館ニュース Volume.38

【2000部発行 発行日2019年9月】



Volume.38
所蔵品紹介:【キリスト教文化】「旧約全書」
資料でみる西南学院の歴史②:修学旅行旧遠足に關スル記録
展覧会紹介:聖母の美
博物館通信:「ねこ学への招待」ほか

博物館ニュース Volume.39

【2000部発行 発行日2019年12月】



Volume.39
所蔵品紹介:【日本キリスト教史】長崎唐人屋敷騒動鎮圧図
資料でみる西南学院の歴史③:奉安室の菊の紋章
展覧会紹介:実習成果展 聖歌×讃美歌/文化財とともに生きていく-ドージャー記念館
次の100年に向けて-
博物館通信:「明治日本とキリスト教一瞬かかれた種」ほか

3. 来館者動向

来館者統計

2019年度

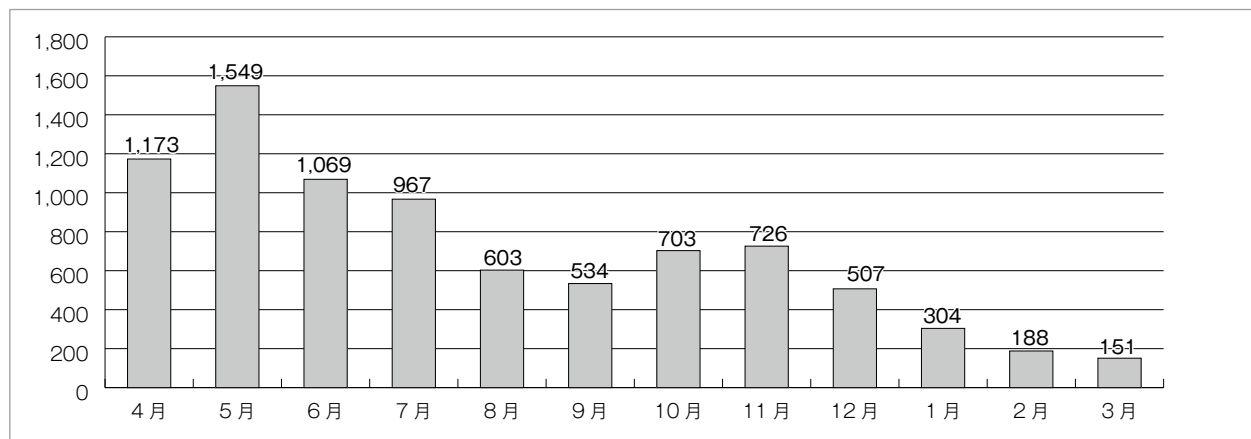
開館以来来館者数 163,305人
 2019年度来館者数 8,474人
 2006~2018年年度来館者数 156,074人
前年度人数 9,336人 (前年度比 -10.3%)

2019年度 月別来館者統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数	26	27	25	26	21	25	24	26	21	18	24	25	288	
学内	教職員	97	22	10	14	10	30	18	24	30	6	0	3	264
	本学学生	558	391	390	493	13	149	60	183	145	91	9	27	2,509
	学内小計	655	413	400	507	23	179	78	207	175	97	9	30	2,773
学外	大人(一般)	429	971	598	388	278	294	569	487	159	196	145	104	4,618
	他大学生	5	9	15	40	33	19	14	14	3	0	6	8	166
	高校生	8	21	15	1	198	3	25	7	163	2	9	0	452
	中学生	4	9	2	1	12	0	3	1	0	0	1	1	34
	小学生	37	99	24	18	41	31	12	6	2	6	9	6	291
	幼児	35	27	15	12	18	8	2	4	5	3	9	2	140
	学外小計	518	1,136	669	460	580	355	625	519	332	207	179	121	5,701
海外居住者	25	22	56	112	15	25	3	6	4	58	9	0	335	
男女比	男性	253	348	217	211	186	190	175	129	118	112	87	72	2,098
	女性	336	434	386	177	237	170	162	172	101	114	62	68	2,419
	不明	584	767	466	579	180	174	366	425	288	78	39	11	3,957
合計	1,173	1,549	1,069	967	603	534	703	726	507	304	188	151	8,474	

月別来館者数 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,173	1,549	1,069	967	603	534	703	726	507	304	188	151



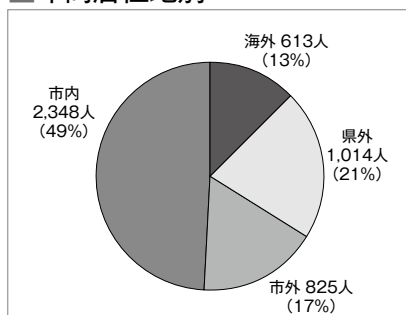
月別開館日数 (単位：日)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	27	25	26	21	25	24	26	21	18	24	25	288

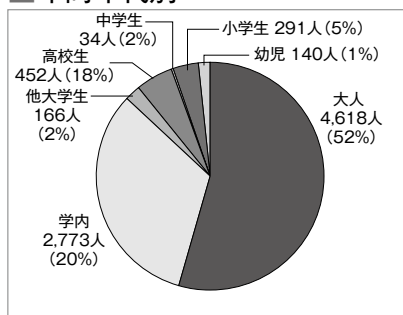
月別1日あたり平均来館者数 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
45.1	57.3	42.7	37.1	28.7	21.3	29.2	27.9	24.1	16.8	7.8	6	46

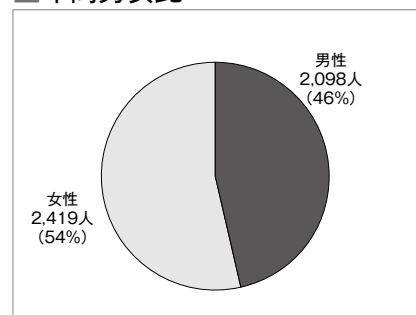
年間居住地別



年間年代別



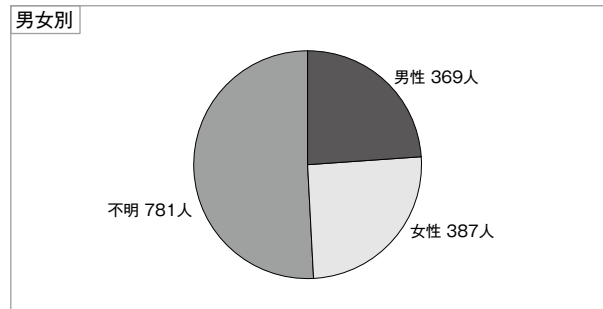
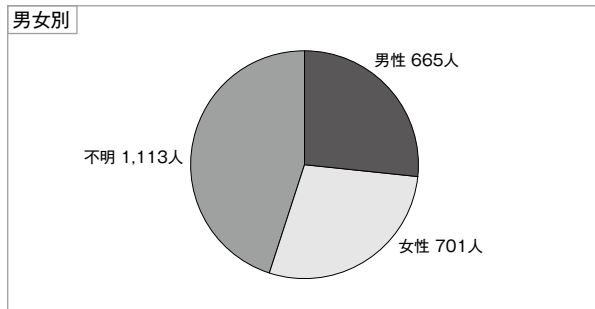
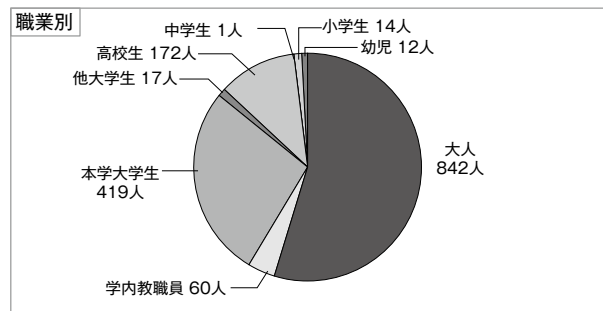
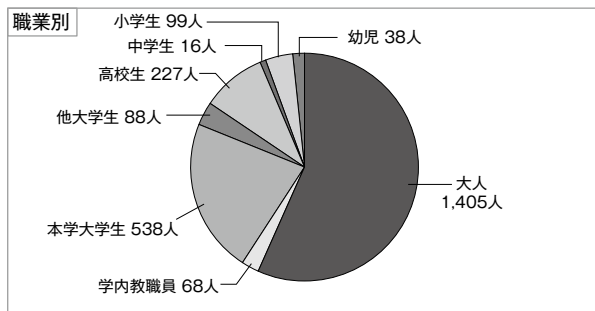
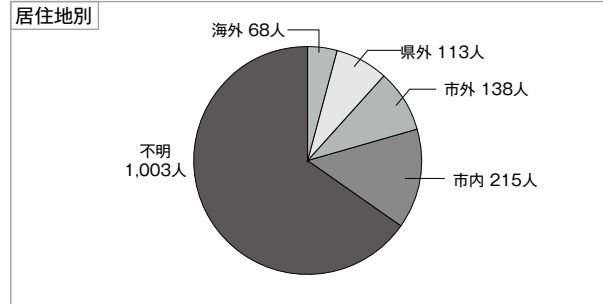
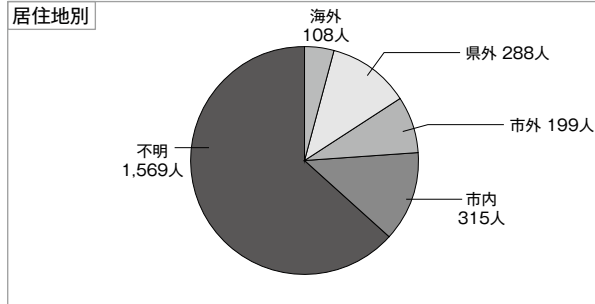
年間男女比



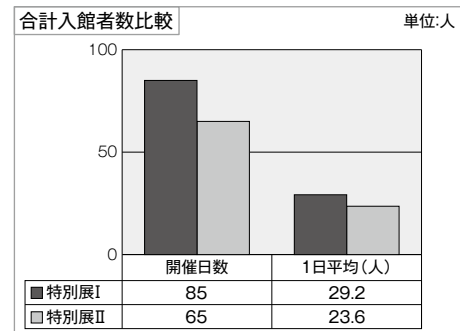
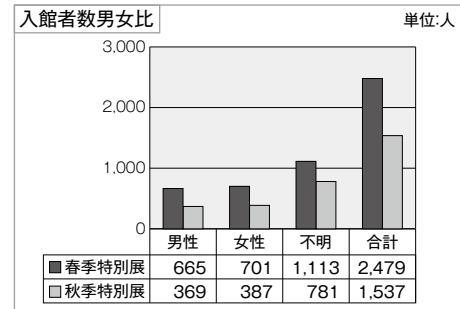
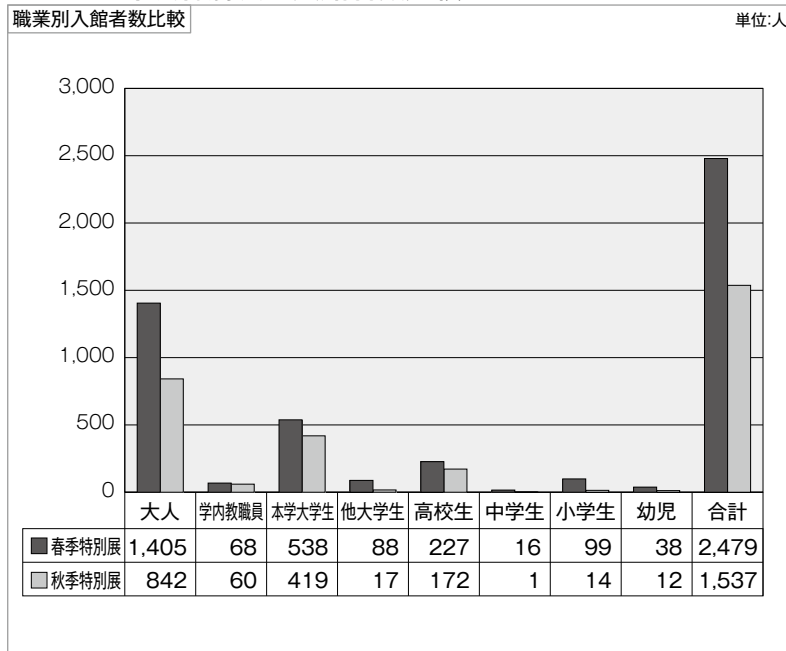
特別展期間中来館者動向

■特別展I
西南学院大学博物館2019年度春季特別展
「明治日本とキリスト教—蒔かれた種—」
 開催期間：2019年7月15日～10月26日
 開催日数：85日 総来館者数：2,479人

■特別展II
西南学院大学博物館2019年度秋季特別展
「聖母の美—諸教会におけるマリア神学とその芸術的展開—」
 開催期間：2019年11月1日～2020年1月25日
 開催日数：65日 総来館者数：1,537人



■2019年度特別展 入館者数比較



来館団体一覧

期日	見学時間	団体名・使用目的	人数
4月2日	11:00~11:30	新任教職員オリエンテーション	70
4月2日	13:30~15:00	留学生別科	13
4月5日	9:00~14:00	神学部始業礼拝、開講講演会	60
4月15日	13:00~14:30	講義「博物館の世界」	73
4月22日	13:00~14:30	講義「博物館の世界」	71
4月24日	—	チャペルクワイヤ	14
4月27日	—	福岡高校生物部	6
5月01日	12:00~17:00	神学部主催シンポジウム	150
5月10日	—	講義「博物館教育論」	14
5月13日	13:00~14:30	講義「博物館の世界」	68
5月14日	11:00~12:00	西南小学校2年生	75
5月17日	—	博多インターナショナルスクール	12
5月20日	13:00~14:30	講義「博物館の世界」	60
5月22日	12:30~13:00	ゆめさが大学	35
6月3日	13:00~14:30	講義「博物館の世界」	68
6月10日	13:00~14:30	講義「博物館の世界」	77
6月11日	11:00~11:30	糸島市市民講座	37
6月12日	9:00~12:40	キリスト教学	60
6月13日	13:30~15:00	学術講演会	90
6月17日	13:00~14:30	講義「博物館の世界」	71
6月24日	13:00~14:30	講義「博物館の世界」	70
6月26日	—	韓国キリスト教会	15
6月29日	13:00~17:00	九州キリスト者の会	50
7月1日	13:00~14:30	講義「博物館の世界」	73
7月3日	—	チャペルクワイヤ	6
7月5日	—	講義「博物館教育論」	14
7月8日	13:00~14:30	講義「博物館の世界」	72
7月16日	13:00~14:30	講義「博物館の世界」	73
7月26日	9:00~15:00	舞台「サザエさん」記者会見	100
8月3日	11:30~11:50	三井住友OB	15
8月21日	—	近畿大学文芸学部	12
8月22日	—	柏陵高校2年生	100
8月23日	—	せいなんこどもワークショップ	9
8月30日	—	吉塚中学校	6

期日	見学時間	団体名・使用目的	人数
9月14日	14:00~17:00	「古賀嘉生先生を囲む会」	15
9月30日	—	西南学院史	123
〃	—	神学部チャペル	24
10月2日	—	武蔵台高校PTA	90
10月4日	—	宮平ゼミ21期生	13
10月5日	—	ギャラリートーク	5
10月10日	—	魁誠高校	23
10月17日	—	夢佐賀大学	75
10月22日	13:00~16:00	公開シンポジウム「天皇制を考える」	150
10月22日	—	別府大学西洋史研究室	10
10月28日	—	同窓会	20
11月2日	—	公開講座	40
11月5日	—	西南学院史	87
11月7日	—	松原ゼミ	13
11月9日	12:00~18:00	藤田ゼミ講演会	153
11月11日	—	神学部チャペル	50
11月15日	12:00~18:00	フラウエンコール	20
11月16日	—	公開講演会	40
11月20日	—	武末ゼミ	9
11月23日	12:00~18:30	「かけはし」講演会	200
11月28日	13:00~15:30	講演会	50
12月16日	—	神学部チャペル	23
〃	—	東京外国語大学	6
12月18日	—	ジョ先生キリスト教学授業	30
12月19日	—	小倉南高校	100
12月20日	—	小倉南高校	100
12月21日	11:00~19:30	音楽集団「Eオケ」実行委員会	150
12月27日	—	国際文化学部基礎演習、文化基礎論	15
〃	—	文化基礎論	10
2月15日	10:00~16:00	コンセール・エクラタン福岡コンサート	115
2月29日	12:00~16:00	井原徹氏講演会	50

博物館講堂使用状況

期日	使用時間	使用団体(者)	集会名称	人数
4月4日	9:00~12:00	神学部	神学部始業礼拝	60
5月1日	12:00~17:00	神学部	神学部シンポジウム「天皇制を考える」	150
5月20日	15:00~15:40	個人	撮影	4
5月25日	13:00~15:00	博物館	山根明弘先生トークイベント&ミュージアムコンサート	350
6月12日	8:30~13:00	キリスト教学	講義	60
6月13日	12:30~15:30	神学部	学術講演会「ユダヤ教は自死をどう受け止めてきたか」	90
6月29日	13:00~17:00	「慰安婦」問題と取りくむ九州キリスト者の会	上映会、講演会	70
11月23日	11:30~17:30	映画「かけはし」をみる会(福岡)	上映会、舞台挨拶	200
2月15日	10:00~17:00	コンセール・エクラタン福岡	コンセール・エクラタン福岡第23階主催公演 古楽シリーズ vol.12 ファンダゴ~わかき b.ペートーヴェンと同時代の作曲家たち	115
2月29日	12:00~17:00	安藤公正(西南学院大学図書情報課)	井原徹氏講演会	50
月曜日	11:00~12:00	西南学院大学神学部	神学部チャペル	50
月曜日(前期)	13:00~14:30	西南学院大学	講義「博物館の世界」	89

4. その他

寄贈図書一覧

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
東北大学総合学術博物館	Bulletin of the Tohoku University Museum No.18 2019	紀要	2019	東北大学総合学術博物館
東北大学総合学術博物館	Omnividens オムニヴィデンス 第59号	小冊子	2019	東北大学総合学術博物館
一般財団法人西日本文化協会	西日本文化 490号	雑誌	2019	一般財団法人西日本文化協会
佐賀県立九州陶磁文化館	セラミック九州 No.55	館報	2019	佐賀県立九州陶磁文化館
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第12集 大苑遺跡 一大苑地区 県営畑地帯総合整備事業(担い手育成型)に伴う発掘調査一	報告書	2018	南島原市教育委員会文化財課
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第13集 宮野遺跡 一大苑地区 県営畑地帯総合整備事業(担い手育成型)に伴う発掘調査一	報告書	2018	南島原市教育委員会文化財課
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第14集 慈恩寺跡 一市道城 平上木場1号線・城平7号線道路改良工事に伴う発掘調査一	報告書	2018	南島原市教育委員会文化財課
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第15集 浦田遺跡	報告書	2018	南島原市教育委員会文化財課
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第16集 大坂遺跡 一市道川 原新切線道路改良事業に伴う発掘調査一	報告書	2018	南島原市教育委員会文化財課
同志社大学歴史資料館、同志社女子大学、同志社女子中学校、高等学校	同志社大学歴史資料館調査研究報告書第15集 常盤井殿町 遺跡・公家町遺跡・相国寺旧境内発掘調査報告書2018	報告書	2019	同志社大学歴史資料館
小郡市教育委員会	小郡南原遺跡・小郡堂の前遺跡3 小郡市文化財調査報告書 第314集	報告書	2019	小郡市埋蔵文化財調査センター
小郡市教育委員会	福童町遺跡14 小郡市文化財調査報告書 第315集	報告書	2019	小郡市埋蔵文化財調査センター
小郡市教育委員会	埋蔵文化財調査報告書10 小郡市文化財調査報告書 第316集	報告書	2019	小郡市埋蔵文化財調査センター
小郡市教育委員会	旧松崎旅館油屋2 小郡市文化財調査報告書 第317集	報告書	2019	小郡市埋蔵文化財調査センター
小郡市教育委員会	干潟京ノ坪遺跡 小郡市文化財調査報告書 第318集	報告書	2019	小郡市埋蔵文化財調査センター
小郡市教育委員会	吹上村園遺跡 小郡市文化財調査報告書 第319集	報告書	2019	小郡市埋蔵文化財調査センター
小郡市教育委員会	三沢権遺跡 小郡市文化財調査報告書 第320集	報告書	2019	小郡市埋蔵文化財調査センター
小郡市教育委員会	上岩田遺跡 小郡市文化財調査報告書 第321集	報告書	2019	小郡市埋蔵文化財調査センター
公益財団法人福岡観光連盟	伝えたいFukuoka Vol.2	小冊子	2019	公益財団法人福岡観光連盟
玉川文化財研究所	東京都町田市本館台遺跡発掘調査報告書	報告書	2019	玉川文化教育博物館
日本工業大学工業技術博物館	工業技術博物館ニュースNo.101	館報	2019	日本工業大学工業技術博物館
シーボルト記念館	鳴滝紀要 第29号	紀要	2019	シーボルト記念館
平戸市生月町博物館・島の館	島の館だより23号	小冊子	2019	平戸市生月町博物館・島の館
大阪大谷大学博物館	博物館だよりNo.126	小冊子	2019	大阪大谷大学博物館
京都大学大学文書館	京都大学大学文書館研究紀要 第17号	紀要	2019	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学大学文書館資料叢書 1 羽田享日記	資料叢書	2019	京都大学大学文書館
九州保健福祉大学	九州保健福祉大学 博物館年報7	年報	2018	九州保健福祉大学
九州保健福祉大学	九州保健福祉大学 博物館年報8	年報	2019	九州保健福祉大学
長崎歴史文化博物館	長崎歴史文化博物館 教育実践報告書—れきぶん 学び のプログラム	報告書	2019	長崎歴史文化博物館
昭和女子大学光葉博物館	日本の文化とくらし—光葉博物館コレクションより—	図録	2019	昭和女子大学光葉博物館
昭和女子大学光葉博物館	光葉博物館報 No. 22	館報	2019	昭和女子大学光葉博物館
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館 紀要 第16号	紀要	2019	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館 博物館ニュース SHU NO.52	小冊子	2019	玉川大学教育博物館
帝国データバンク史料館	帝国データバンク史料館だより Muse 第34号	小冊子	2019	帝国データバンク史料館
福岡市総合図書館	平成30年度古文書資料目録 24	目録	2019	福岡市総合図書館
福岡市総合図書館	研究紀要 第19号	紀要	2019	福岡市総合図書館
帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告 XX I	報告書	2019	帝塚山大学附属博物館
帝塚山大学附属博物館	帝塚山大学附属博物館常設展示② パンフレット 鬼は語 る～鬼瓦の歴史～	小冊子	2019	帝塚山大学附属博物館
帝塚山大学附属博物館	帝塚山大学附属博物館報X I V	館報	2019	帝塚山大学附属博物館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館年報 No.17 2017	年報	2019	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館年報 news letter No.43	小冊子	2018	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館年報 news letter No.44	小冊子	2019	鹿児島大学総合研究博物館
大分県芸術文化スポーツ振興財団	iiO季刊広報誌2019Spring vol.84	小冊子	2019	大分県芸術文化スポーツ振興財団
関西学院大学博物館	アングスの布一糸があやなすチャンカイ・レースー	図録	2019	関西学院大学博物館
関岡絵梨花	福岡県立美術館コレクション展 九州芸文館記録集 2013-2018	小冊子	2019	九州芸文館美術展実行委員会
中崎透、関岡絵梨花、森結、野中隆之介	記録集CHIKUGO ART POT 2018 スーパー ローカル マーケット	小冊子	2019	九州芸文館美術展実行委員会
関西大学博物館	関西大学博物館紀要第25号	紀要	2019	関西大学博物館

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
関西大学博物館	関西大学博物館会報「阡陵」第78号	館報	2019	関西大学博物館
法政大学・明治大学・関西大学	三大学連携協力締結記念特別展示「ボアソナードとその教え子たち」	小冊子	2019	関西大学博物館
株式会社思文閣出版、古書部	思文閣古書資料第261号	目録	2019	株式会社思文閣出版
大村市教育委員会	大村家資料目録	目録	2019	大村市立史料館
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 B類 歴史 第16号	報告書	2019	北九州市立自然史・歴史博物館
駒澤大学禅文化歴史博物館	企画展「新収蔵品展2018」	小冊子	2018	駒澤大学禅文化歴史博物館
駒澤大学禅文化歴史博物館	駒澤大学禅文化歴史博物館紀要第3号(平成29年度)	紀要	2019	駒澤大学禅文化歴史博物館
九州歴史資料館	九歴だより No.49	小冊子	2019	九州歴史資料館
大阪大学適塾記念センター	大阪大学適塾記念センター ニュースレター「適塾かわら版」巻三	小冊子	2019	大阪大学適塾記念センター 適塾記念館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュースvol.118	小冊子	2018	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュースvol.119	小冊子	2018	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュースvol.120	小冊子	2019	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	日本100名城 大分府内城	図録	2018	大分市歴史資料館
大阪大学適塾記念センター	新版 緒方洪庵と適塾	書籍	2019	大阪大学適塾記念センター
広島大学総合博物館	広島大学総合博物館研究報告第10号	報告書	2018	広島大学総合博物館
沙羅書房	沙羅書房古書目録 第九十八号	目録	2019	沙羅書房
佐賀大学美術館	特別展「佐賀の近代日本画」	図録	2019	佐賀大学美術館
新潟市歴史博物館	博物館ニュースvol.46 帆樫成林	小冊子	2019	新潟市歴史博物館
福岡県立美術館	福岡県立美術館レター とつばらいと 113号 June.2019	小冊子	2019	福岡県立美術館
全日本博物館学会	博物館雑誌第44巻2号	学会会報	2019	全日本博物館学会
九州国立博物館	九州国立博物館紀要「東風西声」	紀要	2019	九州国立博物館
九州国立博物館	特別展「京都 大報恩寺 快慶・定慶のみほとけ」	図録	2019	九州国立博物館
下関市立歴史博物館	平成28-29年度 下関市立歴史博物館年報	年報	2019	下関市立歴史博物館
金沢美術工芸大学美術工芸研究所	平成30年度研究所報No.32	年報	2019	金沢美術工芸大学美術工芸研究所
独立行政法人東京文化財研究所	TOBUNKEN NEWS 2019 no.69	小冊子	2019	独立行政法人東京文化財研究所
公益財団法人日本博物館協会	博物館研究	小冊子	2019	公益財団法人日本博物館協会
(株)キコオ書店	第二十号 京都古書籍・古書画資料目録	目録	2019	京都府古書籍協同組合
天草市立天草キリシタン館	天草キリシタン館 館報第6号	館報	2019	天草市立天草キリシタン館
天草市立天草キリシタン館	天草市文化財調査報告書第7集 キリシタン墓地調査報告書	報告書	2019	天草市立天草キリシタン館
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第85号	小冊子	2019	東京大学史料編纂所
丸善雄松堂株式会社	丸善雄松堂精選古書目録2019	目録	2019	丸善
西新の学童保育スイミー	スイミー歳時記	小冊子	2019	西新の学童保育スイミー
正路佐知子	インカ・ショニバレCBE:Flower Power	図録	2019	福岡市美術館
京都大学大学文書館	京都大学大学文書館だより 第36号	小冊子	2019	京都大学大学文書館
新修宗像市史編集委員会	『宗像市史研究』第2号	冊子	2019	新修宗像市史編集委員会
日本博物館協会	博物館研究Vol.54 No.7 通巻613号	小冊子	2019	日本博物館協会
津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関連携に関するプロジェクト実行委員会	2011平成の大津波と博物館—被災資料再生の歩み—	小冊子	2019	日本博物館協会
大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館年報2018	年報	2019	大分県立歴史博物館
大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館研究紀要19	紀要	2019	大分県立歴史博物館
徳川記念財団	徳川記念財団 会報vol.33	小冊子	2019	徳川記念財団
安高啓明	長崎出島事典	書籍	2019	終風舎
長崎歴史文化博物館	長崎れきぶんNEWS No.050 夏号	館報	2019	長崎歴史文化博物館
中島学	近世西海捕鯨史料・目録—山縣家文書(二)— 福岡大学研究推進部資料叢書 第9冊	目録	2019	福岡大学研究推進部古文書室
福岡アジア美術館	あじびニュース 第77号	小冊子	2019	福岡アジア美術館
鹿児島国際大学ミュージアム	調査研究報告 第16集	報告書	2019	鹿児島国際大学ミュージアム
東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室	東京都江戸東京博物館紀要 第9号	紀要	2019	東京都江戸東京博物館
東北大学総合学術博物館	東北大学総合学術博物館ニュースレター Omnividents No.60	小冊子	2019	東北大学総合学術博物館
大分県芸術文化スポーツ振興財団	ilO 大分県芸術文化スポーツ振興財団季刊広報誌 2019SUMMER vol.85	小冊子	2019	大分県芸術文化スポーツ振興財団
大野城市心のふるさと館	こころニュースvol.4	小冊子	2019	大野城市心のふるさと館
金沢美術工芸大学美術工芸研究所	教員研究発表展 16-18 図録	図録	2019	金沢美術工芸大学美術工芸研究所
帝国データバンク史料館	帝国データバンク史料館だより Muse 第35号	小冊子	2019	帝国データバンク史料館
広島大学総合博物館	広島大学総合博物館ニュースレター HUM-HUM Vol.12	小冊子	2019	広島大学総合博物館
日本博物館協会	博物館研究Vol.54 No.8 通巻614号	小冊子	2019	日本博物館協会
大阪大谷	博物館だよりNo.127	小冊子	2019	大阪大谷
原寛、西牟田耕治、黒田康介、鈴木サカエ	創刊30周年記念誌 博多湾物語	小冊子	2019	能古博物館

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
下関市立歴史博物館	下関の鉄道物語	図録	2019	下関市立歴史博物館
TOTOミュージアム	TOTO MUSEUM	図録	2016	TOTOミュージアム
東北福祉大学	東北福祉大学 芹沢銚介美術工芸館 年報10 2018	年報	2019	東北福祉大学
九州国立博物館	室町將軍 一戦乱と美の足利十五代一	図録	2019	九州国立博物館
九州国立博物館	館蔵名品展 更紗 生命の花咲く布	図録	2019	九州国立博物館
日本博物館協会	博物館研究Vol.54 No.9 通巻615号	小冊子	2019	日本博物館協会
久留米市市民文化財文化財保護課	収蔵館NEWS第15号	小冊子	2019	久留米市市民文化財文化財保護課
小都市埋蔵文化財調査センター	動物の考古学	小冊子	2019	小都市埋蔵文化財調査センター
大分県芸術文化スポーツ振興財団	iLO 大分県芸術文化スポーツ振興財団季刊広報誌 2019AUTUMN vol.86	小冊子	2019	大田井県立芸術文化スポーツ振興財団
岩戸山歴史文化交流館	八女市岩戸山歴史文化交流館「いわいの郷」年報3 一平成30年度一	年報	2019	八女市教育委員会文化振興課歴史文化交流館係
福岡県立美術館	福岡県立美術館レター とつばらいと 114号 Sept.2019	小冊子	2019	福岡県立美術館
学習院大学史料館	学習院史料館 ミュージアムレター No.41	小冊子	2019	学習院大学史料館
公益財団法人日本博物館協会	博物館研究vol.54	小冊子	2019	日本博物館協会
関西学院大学博物館	関西学院の130年	図録	2019	関西学院大学博物館
大阪大谷大学博物館	博物館だより	小冊子	2019	大阪大谷大学博物館
長崎歴史文化博物館	長崎れきぶんNEWS No.051 秋号	小冊子	2019	長崎歴史文化博物館
北海道大学総合博物館	北海道大学総合博物館ニュース 第39号	小冊子	2019	北海道大学総合博物館
北海道大学総合博物館	考古学からみた北大キャンパスの5,000年	小冊子	2019	北海道大学総合博物館
立正大学博物館	仙場右羊コレクション中国考古資料図録	図録	2019	立正大学博物館
立正大学博物館	立正大学博物館年報 17 平成30(2018)年度	年報	2019	立正大学博物館
福岡アジア美術館	あじびニュース 第78号	小冊子	2019	福岡アジア美術館
國學院大學博物館	有栖川宮家・高松宮家ゆかりの新収蔵品	図録	2019	國學院大學博物館
学習院大学学芸員課程委員会	学芸員 学習院大学学芸員課程 2019 No.23	小冊子	2019	学習院大学学芸員課程事務局
下関市立歴史博物館	関ヶ原 一天下分け目と毛利氏の戦い一	図録	2019	下関市立歴史博物館
日本工業大学工業技術博物館	工業技術博物館ニュース No. 102	小冊子	2019	日本工業大学工業技術博物館
日本博物館協会	博物館研究Vol.54	小冊子	2019	公益財団法人 日本博物館協会
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館ニュース32	小冊子	2019	九州大学総合研究博物館
独立行政法人東京文化財研究所	2019独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所概要	官報	2019	独立行政法人東京文化財研究所
独立行政法人東京文化財研究所	TOBUNKEN NEWS 2019 no.70	小冊子	2019	独立行政法人東京文化財研究所
東京大学史料編纂所	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第86号	官報	2019	東京大学史料編纂所
中部大学民族資料博物館	中部大学と岡田憲久展	小冊子	2019	中部大学民族資料博物館
中部大学民族資料博物館	中部大学民族資料博物館年俵 8号	小冊子	2019	中部大学民族資料博物館
中部大学民族資料博物館	中部大学民族資料博物館連続講演記録2018	小冊子	2019	中部大学民族資料博物館
京都大学文学書館	京都大学 文学書館だより第37号	小冊子	2019	京都大学文学書館
東京国立博物館・九州国立博物館	三国志	図録	2019	九州国立博物館
泉屋博古館・九州国立博物館	文化財よ、永遠に	図録	2019	九州国立博物館
九州国立博物館	版経東漸	図録	2019	九州国立博物館
九州国立博物館	縄文王国やまなし	図録	2019	九州国立博物館
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館館報 第17号 2018年度	年報	2019	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	博物館ニュース「SHŪ」 NO.53	小冊子	2019	玉川大学教育博物館
新潟市歴史博物館	新潟市歴史博物館研究紀要 第15号	紀要	2019	新潟市歴史博物館
新潟市歴史博物館	企画展図録「新潟市の文化財」	図録	2019	新潟市歴史博物館
新潟市歴史博物館	資料集「明治のいごた一地図・写真一」	資料集	2019	新潟市歴史博物館
新潟市歴史博物館	調査報告書「墓石から近世新潟町の歴史をさぐるプロジェクト」	調査報告書	2019	新潟市歴史博物館
公益財団法人日本博物館協会	令和元年度 会員名簿	名簿	2019	公益財団法人日本博物館協会
公益財団法人日本博物館協会	博物館研究 第54巻 特集「学校所蔵標本のこれまでとこれから」	小冊子	2019	公益財団法人日本博物館協会
八代市立博物館未来の森ミュージアム	ものふと茶の湯一利休から織部・忠興・康之へ一	図録	2019	八代市立博物館未来の森ミュージアム
株式会社思文閣出版、古書部	思文閣古書資料目録	目録	2019	株式会社思文閣出版
全日本博物館学会	学会ニュースNo.130	小冊子	2019	全日本博物館学会
全日本博物館学会	博物館学雑誌 第45巻 第1号	雑誌	2019	全日本博物館学会
大阪市博物館機構	広報誌「大阪ミュージアムズ Osaka Museums」第11号	小冊子	2019	大阪市博物館機構
新潟市歴史博物館	博物館ニュース「帆樫成林」vol.48	小冊子	2019	新潟市歴史博物館
大阪大学適塾記念センター 適塾記念会	適塾 No.52	小冊子	2019	大阪大学適塾記念センター 適塾記念会
久留米大学	比較文化研究所地域博物館研究部会ニュースレター Vol.10	小冊子	2019	久留米大学
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要 第38号	紀要	2019	南山大学人類学博物館

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
公益財団法人有馬記念館保存会	有馬記念館年報 第5号 平成30(2018)年度	年報	2019	有馬記念館
公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 第55巻	小冊子	2020	公益財団法人日本博物館協会
公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団	iLO 大分県芸術文化スポーツ振興財団季刊広報誌 2019WINTER vol.87	小冊子	2020	公益財団法人日本博物館協会大分県芸術文化スポーツ振興財団
世界思想社	図書目録 2020年用	目録	2019	西南学院大学生協
法政大学出版局	図書目録 2020	目録	2019	西南学院大学生協
講談社	自然科学書	目録	2019	西南学院大学生協
国語・国文学図書総目録刊行会	文学ことば図書総目録2020	目録	2019	西南学院大学生協
帝国データバンク史料館	Muse vol. 36	小冊子	2019	帝国データバンク史料館
那珂川町馬頭広重美術館	小倉擬百人一首	図録	2020	那珂川町馬頭広重美術館
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第17集 東石原遺跡	小冊子	2019	南島原市教育委員会文化財課
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第18集 東大窪遺跡・中秋原遺跡	小冊子	2019	南島原市教育委員会文化財課
長崎歴史文化博物館	れきぶんNEWS NO52 新春号	小冊子	2020	長崎歴史文化博物館
佐賀大学美術館	佐賀大学美術館 平成30年度 年報+紀要	年報・紀要	2019	佐賀大学美術館
熊平製作所	抜萃のつゞり その七十九	小冊子	2020	熊平製作所
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	画像史料解析センター	小冊子	2020	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター
藪秀実	湖畔の声 令和2年2月号(通算1236号)	小冊子	2020	近江兄弟社
福岡市美術館	平成30年度 福岡市美術館活動の記録	年報	2019	福岡市美術館
宇美町教育委員会	宇美町文化財調査報告書第21集 天園遺跡	小冊子	2019	宇美町教育委員会社会教育課
宇美町教育委員会	宇美町文化財調査報告書第16集 宇美中学校遺跡	小冊子	2006	宇美町教育委員会社会教育課
久留米市美術館	久留米市美術館 年報2(2018.4-2019.3)	年報	2020	久留米市美術館
中部大学民族資料博物館	News Letter vol.16	小冊子	2020	中部大学民族資料博物館
2019年度 福岡女子大学文化芸術推進事業事務局	福岡女子大アートマネジメント人材育成事業 2019年度文化庁大学における文化芸術推進事業活動報告書	報告書	2019	福岡女子大学文化芸術推進事業事務局
高山百合	赤星孝と赤星信子展	図録	2020	福岡県立美術館
大阪市博物館機構	大阪ミュージアムズ vol.12	小冊子	2020	地方独立行政法人 大阪市博物館機構事務局
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館ニュース vol.33	小冊子	2020	九州大学総合研究博物館
大分県立先哲史料館	史料館研究紀要 第24号	年報・紀要	2020	大分県立先哲史料館
日本工業大学工業技術博物館	工業技術博物館ニュース No. 103	小冊子	2020	日本工業大学工業技術博物館
福岡市美術館	福岡市美術館研究紀要 第8号	年報・紀要	2020	福岡市美術館
福岡市美術館	仙厓 小西コレクション展	図録	2019	福岡市美術館
福岡市美術館	梅田哲也 うたの起源	図録	2020	福岡市美術館
糸島市立伊都国歴史博物館	糸島市立伊都国歴史博物館紀要第12号	紀要	2017	糸島市立伊都国歴史博物館
糸島市立伊都国歴史博物館	糸島市立伊都国歴史博物館紀要第13号	紀要	2018	糸島市立伊都国歴史博物館
糸島市立伊都国歴史博物館	糸島市立伊都国歴史博物館紀要第14号	紀要	2019	糸島市立伊都国歴史博物館
糸島市立伊都国歴史博物館	糸島市立伊都国歴史博物館年報14	紀要	2019	糸島市立伊都国歴史博物館
糸島市立伊都国歴史博物館	糸島市立伊都国歴史博物館年報15	紀要	2020	糸島市立伊都国歴史博物館
國學院大學博物館	國學院大學博物館研究報告2020	報告書	2020	國學院大學博物館
東京文化財研究所	TOBUNKEN NEWS No.71	報告書	2019	東京文化財研究所
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第20集 諏訪ノ上遺跡	報告書	2020	南島原市教育委員会文化財課
田川広域観光協会	はっち 2020年春号	冊子	2020	田川広域観光協会
熊本五校記念館	昭和期の第五高等学校調査報告(二)	資料叢書	2020	熊本大学五高記念館
五木田聡	ルネ・ユイグのまなざし フランス絵画の栄華 第様式の形成と変容	図録	2019	九州国立博物館
緒方泉	令和元年文化庁「大学における文化芸術推進事業」実施報告書	報告書	2020	九州産業大学美術館
天草市	天草陶磁の騎手 高浜焼 波濤を越えた挑戦	図録	2020	天草市
佐賀県文化・スポーツ交流課 文化課	知ればもっと面白い 三重津海軍所跡	小冊子		佐賀県文化・スポーツ交流局文化課
公益財団法人石橋財団	石橋財団アニュアル・レポート2019	報告書	2020	公益財団法人石橋財団
下関市立考古博物館	研究紀要 第22号	紀要	2018	下関市教育委員会
下関市立考古博物館	令和元年度特別展 至宝もののせき―梶栗浜遺跡と弥生の墓制―	図録	2019	下関市教育委員会
杵築市教育委員会	杵築城跡Ⅰ 平成29年度～令和元年度 杵築城跡(台山部分)確認調査、および杵築城藩主御殿調査概要報告書	報告書	2019	杵築市教育委員会

博物館規定

西南学院大学博物館規程

2005(平成17)年10月5日
制定

(趣旨)

第1条 この規程は、西南学院大学学則（1949(昭和24)年4月1日）第5条に基づき、西南学院大学（以下「本学」という。）に設置する博物館に関する必要な事項を定める。

(名称及び位置)

第2条 名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
西南学院大学博物館(ドージャー記念館)	福岡市早良区西新三丁目13番1号

(目的)

第3条 西南学院大学博物館（以下「博物館」という。）は、次に掲げる事項を目的とする。

- (1) キリスト教文化、教育文化、地域文化、西南学院史等に関する博物館資料（以下「資料」という。）の収集、整理、保管、閲覧及び展示に関する事項
- (2) 前号の資料の調査研究に関する事項
- (3) 本学学生、教職員等の西南学院関係者並びに一般市民等の教養及び調査研究に資するために必要な事業の実施に関する事項

(事業)

第4条 博物館は、前条の目的を達成するために次に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、標本、模型、文献、図表、写真、スライド、ビデオ、DVD、CD等の収集、整理、保管、閲覧及び展示
- (2) 資料に関する専門的及び技術的な調査研究の実施
- (3) 本学学生、教職員等の学院関係者及び一般市民等への資料に関する必要な解説、助言、指導等
- (4) 資料に関する講演会、講習会、研究会等の主催及びその開催の援助
- (5) 資料に関する案内書、解説書、目録、年報、調査報告書等の作成及び頒布
- (6) 他の博物館等との刊行物及び情報の交換並びに博物館資料の相互貸借の実施
- (7) 本学学生に対する博物館実習の実施
- (8) その他必要と認められる事業

(職員)

第5条 博物館に、館長その他必要な職員を置く。

第6条 館長は、館務を統括し、博物館を代表する。

2 館長は、本学の専任教授のうちから、博物館長選考委員会（以下「委員会」という。）の推薦に基づき、部長会議の承認を経て、学長がこれを補する。

3 委員会は、次に掲げる委員4名をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 神学部長
- (3) 人間科学部長
- (4) 国際文化学部長

4 館長の任期は、2年とし、再任を妨げない。

第7条 博物館に、博物館教員として学芸員を置く。

2 前項の他に学芸員資格を有する本学教員及び西南学院大学博物館学外研究員に関する内規（2019(令和元)年12月17日）に定める学外研究員を加えることができる。

3 博物館教員は、資料の収集、整理、保管、閲覧、展示及び調査研究その他これに関する事項について、専門的業務を行う。

4 博物館教員は、学芸員課程及び専門分野の授業を担当することができる。

第8条 博物館に社会連携課博物館事務室（以下「博物館事務室」という。）を置き、事務職員、学芸員及び学芸調査員を配置する。

2 事務職員は、博物館運営に係る事項及び庶務の事項を行う。

3 学芸員は、博物館教員の専門的業務及び事務職員の業務を補佐する。

4 学芸調査員は、学芸員業務及び事務職員の業務を補佐する。

(博物館協議会)

第9条 博物館に、館長の諮問に応えるための機関として西南学院大学博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

第10条 協議会に関する事項は、西南学院大学博物館協議会規則（2005(平成17)年10月5日）に定める。

（博物館の管理運営）

第11条 博物館の利用及び管理運営については、西南学院大学博物館管理運営規則（2005(平成17)年10月5日）（以下「管理運営規則」という。）に定める。

（規格外事項の処理）

第12条 この規程に定めのない事項で博物館に関して必要な事項は、協議会の意見を聴いて、館長が定める。

（所管部署）

第13条 この規程に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

（規程の改廃）

第14条 この規程の改廃は、管理運営規則第12条に規定する博物館管理運営委員会及び部長会議の議を経て、学長が行う。

附 則

1 この規程は、2006(平成18)年4月1日から施行する。

2 初代館長の任期は、第6条第3項の規定にかかわらず、2006(平成18)年4月1日から2007(平成19)年6月30日までとする。

附 則

この規程は、2014(平成26)年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2018(平成30)年4月1日から施行する

附 則

この規程は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2020(令和2)年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館協議会規則

2005(平成17)年10月5日
制定

(趣旨)

第1条 この規則は、西南学院大学博物館規程(2005(平成17)年10月5日)第9条に規定する西南学院大学博物館協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。

(所掌事項)

第2条 協議会は、西南学院大学博物館(以下「博物館」という。)の運営に関し、館長の諮問に応えるとともに、博物館の行う博物館資料の収集、整理、保管、閲覧及び展示に関して調査審議し、館長に意見を述べるものとする。
2 前項の博物館資料の収集については、西南学院大学博物館資料収集検討委員会内規(2016(平成28)年3月9日)に定める。

(委員)

第3条 協議会は、次に掲げる委員6名をもって構成する。

- (1) 学芸員資格をもつ大学教員1名
- (2) 大学教員1名
- (3) 本部・大学事務職員1名
- (4) 学外の博物館関係者3名

第4条 前条に掲げる協議会の委員は、館長が指名する。

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第6条 協議会に、会長及び副会長各1名を置く。

第7条 会長及び副会長は、委員の互選によるものとし、任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第8条 会長は、会務を総理する。

第9条 副会長は、会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議の招集)

第10条 協議会の会議は、必要に応じ、会長が招集する。

- 2 館長が必要と認めたとときは、会長に協議会の招集を求めることができる。

(議決)

第11条 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、成立しない。

- 2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(所管部署)

第13条 この規則に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

(規則の改廃)

第14条 この規則の改廃は、協議会の議を経て、部長会議が処理する。この場合において、その実施には、学長の承認を得ることとする。

附 則

- 1 この規則は、2006(平成18)年4月1日から施行する。
- 2 初代委員及び同会長、同副会長の任期は、第5条及び第7条の規定にかかわらず、2006(平成18)年4月1日から2007(平成19)年6月30日までとする。

附 則

この規則は、2016(平成28)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館管理運営規則

2005(平成17)年10月5日
制定

(趣旨)

第1条 この規則は、西南学院大学博物館規程（2005(平成17)年10月5日）第11条に基づき、西南学院大学博物館（以下「博物館」という。）の利用及び管理運営について定める。

(休館日)

第2条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) キリスト降誕祭（12月25日）
- (3) 年末年始の休日（12月28日から1月5日）

2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めるときは、臨時に休館又は開館することができる。ただし、この場合は、館長は、その都度あらかじめ日時を公示しなければならない。

(開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前10時から午後6時までとする。ただし、入館は午後5時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めるときは、当該時間を変更することができる。

(入館料)

第4条 入館料は、無料とする。

2 前項の規定にかかわらず、特別展示など館長が必要と認めるときは、有料とすることができる。

(入館の制限)

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合、入館を禁じ、又は退館を命じることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、展示品、保管物又は施設設備を損傷するおそれがあると認められるとき
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき
- (3) その他管理上支障があると認められるとき

(資料の閲覧等)

第6条 館長が必要と認めるときは、利用者の依頼により、その調査研究の用に供するために、博物館の所蔵する資料（以下「資料」という。）の閲覧又は複写を許可することができる。

2 資料の閲覧又は複写をしようとする者は、あらかじめ資料の閲覧又は複写の申請をしなければならない。

第7条 次に該当する資料は、閲覧又は複写を制限することがある。

- (1) 保存に影響を及ぼすおそれがあると認められるもの
- (2) 現に展示中のもの
- (3) 寄託された資料及び借用した資料で、寄託者又は貸出者の承諾を得ていないもの
- (4) その他館長が不相当と認めたもの

(資料の貸出し)

第8条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合、資料の館外貸出しを行うことができる。

- (1) 博物館その他これに相当する施設が行う展示の用に供するとき
- (2) 学校が授業の用に供する場合で、館長が適当と認めるとき
- (3) その他館長が適当と認めるとき

2 資料の館外貸出しを希望する者は、別に定めるところにより、館長の許可を受けなければならない。

3 資料の館外貸出しの許可を受ける者は、資料借用書を館長に提出しなければならない。

4 資料の館外貸出しの許可を受けた者は、館長の指示するところにより、管理にあたらなければならない。

5 資料の館外貸出しの許可を受けた者は、当該資料を他に転貸してはならない。

6 資料の貸出期間は、館長がその都度定める。

(損害の賠償)

第9条 見学者等の博物館の利用者又は資料の館外貸出しの許可を受けた者が、故意又は過失など自己の責に帰すべき理由により、施設設備、展示資料又は貸出資料を損傷し、又は滅失したときは、館長の指示を受けてこれを原形に復し、又は館長が定める相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。ただし、館長が特にやむを得ない事情があると認めるときは、この限りではない。

(資料の寄贈)

第10条 博物館は、資料の寄贈を受けることができる。

2 博物館に資料を寄贈しようとする者は、別に定めるところにより、館長にその旨を申出るものとする。

3 館長が寄贈を受けることを決定した場合は、本人にこの旨を通知するものとする。

4 寄贈を受けた資料は、寄贈者の氏名及び寄贈年月日を表記し、永くその篤志を伝える。

(資料の寄託)

第11条 博物館は、資料の寄託を受けることができる。

2 博物館に資料を寄託しようとする者は、別に定めるところにより、館長にその旨を申出るものとする。

3 館長が寄託を受けることを決定した場合は、寄託者にこの旨を通知するものとする。

4 寄託資料の寄託期間は、その都度館長が寄託者と協議して定める。

- 5 寄託資料は、博物館所蔵の資料と同一の取扱いとする。
- 6 寄託資料は、あらかじめ定められた寄託期間にかかわらず、寄託者の請求又は博物館の都合により、これを返還することがある。
- 7 寄託資料が、天災その他の不可抗力によって損傷又は滅失したとき、博物館は損害賠償の責を負わない。

(博物館管理運営委員会)

第12条 博物館の運営に関する事項を協議する機関として博物館管理運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第13条 委員会は、委員長1名、委員5名をもって構成する。

第14条 委員長は、館長が兼任するものとする。

第15条 委員は、次に掲げる者とする。

- (1) 博物館学芸員課程主任
- (2) 神学部長
- (3) 大学事務長
- (4) 博物館事務室責任者
- (5) 博物館教員

第16条 委員の任期は、各委員の役職在任期間とする。

第17条 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができるものとする。

第18条 委員会は、委員長がこれを招集して、その議長となる。ただし、委員長が欠けたとき又は委員長に事故があるときは、委員の互選によって議長を決定する。

(議決)

第19条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ、成立しない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(補則)

第20条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、館長が別に定める。

(所管部署)

第21条 この規則に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

(規則の改廃)

第22条 この規則の改廃は、委員会及び部長会議の議を経て、学長が行う。

附 則

この規則は、2006(平成18)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2014(平成26)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館(ドージャー記念館)講堂使用内規

2006(平成18)年6月14日
制定

(趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館管理運営規則(2005(平成17)年10月5日)第20条の規定に基づき、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)講堂(以下「講堂」という。)の使用に関する事項を定める。

(目的)

第2条 講堂は、西南学院大学博物館規程(2005(平成17)年10月5日)第3条の目的を達成するための活動の場として供することを目的とする。

(使用許可要件)

第3条 西南学院大学博物館長(以下「館長」という。)は、次に掲げる事項に該当する場合、講堂の使用を許可する。ただし、本学の建学の精神に反する目的及び内容である場合は、この限りでない。

- (1) 大学が主催する行事(授業及びチャペル・アワーを含む)
- (2) 大学学生団体が主催し、かつ、学生部長が認めた行事
- (3) 大学教職員が主催する行事
- (4) 大学同窓会が主催する行事
- (5) その他、特に館長が許可する行事

(使用時間)

第4条 講堂の使用時間は、午前10時から午後6時までとする。ただし、館長が必要と認めるときは、この限りでない。

(休館日)

第5条 次に掲げる休館日は、講堂を使用できないものとする。ただし、館長が必要と認めるときは、この限りでない。

- (1) 日曜日
- (2) キリスト降誕祭(12月25日)
- (3) 年末年始の休日(12月28日から1月5日まで)
- (4) 館長が、建物又は備品の修理その他の理由により必要と認めた日

(使用願の提出)

第6条 講堂の使用を希望する者又は団体(以下「使用者」という。)は、所定の使用願を社会連携課博物館事務室(以下「事務室」という。)に提出し、館長の許可を受けなければならない。この場合において、使用者が、時間外又は休館日の使用を希望するときも同様とする。

- 2 前項の使用願の申込み期限は、使用予定日の1か月前とする。

(講堂使用料)

第7条 講堂の使用料は、無料とする。ただし、第3条第3号及び第4号に該当し、かつ、入場料を徴収する行事又は第3条第5号に該当する行事は、有料を原則とする。

- 2 前項ただし書に該当する場合の使用料金及び時間外管理経費は、次に掲げるとおりとする。

使用料金(税込み)	時間外管理経費(税込み)
1時間当たり5,000円	5時間以内 10,000円
	5時間超 20,000円

(講堂内の禁止行為)

第8条 講堂内においては、次に掲げる行為を禁止する。

- (1) 火気の使用
- (2) 許可なく物品の販売を行うこと
- (3) 許可なく金品の寄付募集を行うこと
- (4) 許可なく展示、掲示及び広告又は宣伝を行うこと
- (5) 飲食及び飲酒
- (6) 喫煙
- (7) 凶器及び危険物等の搬入
- (8) 喧騒にわたる行為
- (9) スパイクシューズ及び下駄ばき
- (10) 許可なく備品(長椅子等)を移動すること

(臨時設備及び物品の搬入、搬出)

第9条 使用者が、その活動のために臨時設備を施し、又は講堂常備品以外の物品を搬入しようとするときは、あらかじめ館長の許可を受け、係員の指示に従わなければならない。

- 2 臨時設備又は物品の搬出に遅滞があった場合は、館長が適宜に措置を講ずることができるものとする。この場合において、搬出費用は、使用者の負担とする。

(使用の取消又は中止)

第10条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、その使用許可を取消し又は使用を中止させることができる。

- (1) 建物又は備品等を破壊するおそれがあるとき
- (2) 秩序又は風紀を乱すおそれがあるとき
- (3) 虚偽の申込みが判明したとき
- (4) 事務室の指示に従わなかったとき
- (5) その他管理上支障があると認めるとき

(損害賠償)

第11条 使用者は、建物、付帯設備、備品等を汚損、破壊又は滅失した場合、事務室に届け出て、その損害を賠償しなければならない。

(所管部署)

第12条 この内規に関する事務は、事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第13条 この内規の改廃は、博物館管理運営委員会の議を経て、館長が行う。

附 則

この内規は、2006(平成18)年6月14日から施行する。

附 則

この内規は、2010(平成22)年5月12日から施行する。

附 則

この内規は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館(ドージャー記念館)パイプオルガンの管理及び使用に関する内規

2007(平成19)年5月24日
制定

(趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)設置のパイプオルガンの管理及び使用を円滑に行うため、必要な事項を定めるものとする。

(管理)

第2条 パイプオルガンの管理は、学長の委嘱により博物館長及び大学事務長が協議の上、これにあたる。

(委員会の構成)

第3条 第1条の事項を協議するためパイプオルガン管理運用委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 大学事務長
 - (2) 学院宗教主事(音楽担当)(以下「宗教主事」という。)
 - (3) 博物館教員
 - (4) 学長が委嘱する教員(神学部教員を含む)若干名
 - (5) 総務課長
 - (6) 施設課長
 - (7) キリスト教活動支援課長
 - (8) 博物館事務室責任者(以下「責任者」という。)
- 3 前項第4号に規定する委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長)

第4条 委員会には、委員長を置き、大学事務長がこれにあたる。

2 委員長に事故あるときは、前条第2項の委員の互選によりこれを定める。

(招集及び議事)

第5条 委員長は、必要に応じ委員会を招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(使用対象者)

第6条 パイプオルガンの使用は、博物館長が講堂の使用を認めた行事に際し、次に掲げる者に限り認めるものとする。

- (1) 宗教主事
- (2) 宗教主事が推薦する者
- (3) パイプオルガンを使用する授業科目担当者及び受講生
- (4) 学長が特に推薦する者

(使用時間)

第7条 パイプオルガンの使用時間は、午前10時から午後6時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、博物館長が必要と認めたときは、当該時間を変更することができる。

(使用手続等)

第8条 パイプオルガンの使用を希望する者は、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)講堂使用内規(2006(平成18)年6月14日)第6条第1項の使用願により許可を得るものとする。

2 パイプオルガン使用の際は、博物館事務室係員の指示に従うものとする。

(使用者の管理義務)

第9条 パイプオルガンの使用者は、次に掲げる事項について特に注意しなければならない。

- (1) パイプオルガン使用中の鍵の管理
 - (2) 使用後のパイプオルガンの施錠
 - (3) 鍵の返却
- 2 故障又は調整の必要が生じた時は、直ちに宗教主事及び責任者に通知すること。

(定めのない事項)

第10条 パイプオルガンの管理及び使用について、この内規に定めのない事項については、必要に応じ学長と大学事務長が協議の上、決定する。

(所管部署)

第11条 この内規に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第12条 この内規の改廃は、委員会の議を経て学長が行う。

附 則

この内規は、2007(平成19)年5月24日から施行し、2007(平成19)年5月15日から適用する。

附 則
この内規は、2009(平成21)年7月30日から施行する。

附 則
この内規は、2014(平成26)年4月1日から施行する。

附 則
この内規は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則
この内規は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館資料収集検討委員会内規

2016(平成28)年3月9日
制定

(趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館協議会規則（2005(平成17)年10月5日）第2条第2項に基づき、博物館資料の収集に必要な事項を定めるものとする。

(委員会の設置)

第2条 博物館において所蔵する資料の収集を適正かつ円滑に行うため、博物館資料収集検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(委員会の構成)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 博物館長（以下「館長」という。）
- (2) 館長が委嘱する専任教員若干名
- (3) 博物館教員
- (4) 大学事務長

2 次条第1項第1号の資料を審議する場合は、前項の委員の他に当該資料に関する専門家（以下「専門家」という。）を委員として加えなければならない。

3 専門家は、やむを得ず委員会に出席できないときは、必ず当該資料収集に関する意見書を館長に提出しなければならない。

4 役職者以外の委員（専門家を除く。）の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、役職上の委員の任期は、その職にある期間とする。

(委員会の開催要件)

第4条 委員会は、次に掲げる場合に開催しなければならない。

- (1) 1資料の価格（税込み）が100万円を超える場合
- (2) 当該年度の資料購入予算限度額を超える場合
- (3) その他、館長が諮問する場合

(委員長)

第5条 委員会に、委員長を置く。

2 委員長は、館長がこれに当たる。館長が欠けたとき又は館長に事故あるときは、委員の互選によって、これを定める。

(招集等)

第6条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は、必要に応じて委員以外の者（学外者を含む。）の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(委員会の成立及び議事)

第7条 委員会は、構成員の過半数の出席がなければ成立しない。

2 委員会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(所管部署)

第8条 この内規に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第9条 この内規の改廃は、西南学院大学博物館協議会の議を経て、部長会議が処理する。この場合において、その実施には、学長の承認を得ることとする。

附 則

この内規は、2016(平成28)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館学外研究員に関する内規

2019(令和元)年12月17日
制定

(趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館規程（2005（平成17）年10月5日）第7条第2項に基づき、西南学院大学博物館（以下「博物館」という。）の学外研究員に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 学外研究員とは、博物館の事業を推進し、諸活動に寄与することを目的とし、博物館の関係者と協力して資料の収集及び研究に従事する学外者をいう。

2 前項の学外者とは、原則として次に掲げる者をいう。

- (1) 国立、公立及び私立の教育研究機関に所属する、又は所属した教育職員及び研究者
- (2) 博物館資料の調査、収集、整理、保存、公開展示等について専門知識を有する者

(申込み)

第3条 学外研究員を希望する者は、所定の様式による学外研究員受入申請書を博物館長（以下「館長」という。）に提出しなければならない。

(受入れ)

第4条 学外研究員の受入れに関しては、館長の承認を得て、博物館管理運営委員会（以下「委員会」という。）に報告するものとする。

(受入れ期間)

第5条 学外研究員の受入れ期間は、原則として2年とする。ただし、館長が必要と認めるときは、これを更新することができる。

2 館長が、博物館における業務遂行に支障があると判断したときは、その職務を解くことができる。

(待遇)

第6条 学外研究員と博物館の間には、雇用関係は生じないものとする。

(施設等の使用)

第7条 学外研究員は、本学の教育・研究に支障のない範囲において、大学図書館及び博物館の施設を利用でき、博物館の所蔵資料を調査研究することができる。ただし、研究室は、原則として提供しない。

(刊行物への執筆)

第8条 学外研究員は、博物館が発行する刊行物に執筆し、その刊行物を受け取ることができる。

(所管部署)

第9条 この内規に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第10条 この内規の改廃は、委員会の議を経て、館長が行う。

附 則

この内規は、2020(令和2)年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館組織

大学博物館

館長 宮崎 克則（兼任、本学国際文化学部教授）
 専門：日本近世史
 江戸時代の風俗・社会・文化・産業・政治について記録資料を利用しながら研究。
 江戸の民衆文化を主体にシーボルトなどの異文化交流史。

博物館教員 下園 知弥（専任、助教・学芸員）
 専門：西洋思想史・西洋美術史
 キリスト教の思想・美術を中心に研究。時代は古代および中世が専門。

博物館事務室

職員 大西 修三

臨時職員

学芸研究員 山尾 彩香（教育普及担当）
 宮川 由衣（調査研究担当）
 学芸調査員 鬼束 芽依（本学国際文化研究科博士前期課程）
 迫田ひなの（本学国際文化研究科博士前期課程）
 早田 萌（本学国際文化研究科博士前期課程）
 内野 舞衣（本学人間科学部社会福祉学科）
 勝野みずほ（本学国際文化学部国際文化学科）

博物館管理運営委員会（西南学院大学博物館管理運営規則第14条～15条）

委員長 宮崎 克則（博物館長）
 委員 朝立康太郎（博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授）
 須藤伊知郎（神学部長 本学神学部教授）
 三苦 正淳（本学大学事務長）
 下園 知弥（博物館教員）
 松崎 尚志（社会連携課長 博物館事務室責任者）

博物館協議会（西南学院大学博物館協議会規則第3条）

会長 有馬 学（福岡市博物館館長）
 副会長 島谷 弘幸（九州国立博物館館長）
 委員 朝立康太郎（博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授）
 古田 雅憲（児童教育学科主任 本学人間科学部児童教育学科教授）
 三苦 正淳（本学大学事務長）
 齊藤 真人（学校法人立花学園立花高等学校校長）

（2020年8月現在）

西南学院大学博物館年報 第 12 号
2019

発行日 2020年8月31日

編集発行 西南学院大学博物館
〒814-8511 福岡市早良区西新3-13-1
TEL(092)823-4785 FAX(092)823-4786

印刷 株式会社インテックス福岡
〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-15-1
TEL(092)477-7002 FAX(092)477-7003

 西南学院大学